

BNP パリバ・グループ

2005 年度決算報告書

力強い成長⁽¹⁾

(以下は BNP パリバ・キャピタルを除く数値)

・ 営業収益	215 億ユーロ (前年比 14.6%増)
・ 営業総利益	81 億ユーロ (同 20.7%増)
・ 営業収支率	62.2% (-1.9 ポイント)

・ 純利益 (グループ帰属)	58 億 5200 万ユーロ (同 25.1%増)
・ ROE (株主資本利益率、税引後)	20.2% (+2.2 ポイント)

・ 一株当り利益	7.02 ユーロ (同 26.3%増)
・ 一株当り配当金	2.60 ユーロ (同 30%増)

コア事業全てが大幅増益となりました。

- ◆ フランス国内のリテール・バンキング事業の個人顧客口座数は 15 万 5 千増加しました。このような力強い有機的成長により、同事業の営業収益⁽²⁾は前年比 6.2%増の 54 億 5000 万ユーロとなりました
- ◆ 海外リテール・バンキングおよび金融サービス事業は、全世界で 115 店の新規支店を開設するなど有機的な成長に、主に米国およびトルコ共和国において実行した買収が増益に寄与し、営業収益は前年比 19.3%増の 60 億ユーロを達成しました
- ◆ 資産運用および証券管理事業は、好調な景気サイクルが奏効し、新規資金流入額が 341 億ユーロと記録的に伸びた結果、営業収益は前年比 16.7%増の 36 億ユーロとなりました
- ◆ コーポレート・バンキングおよび投資銀行事業は、顧客収益が顕著に伸び、営業収益は前年比 16.3%増の 64 億ユーロを達成しました

配当金を前年比 30%増の 2.60 ユーロに増配することを、株主総会にてご提案させていただく予定です。

⁽¹⁾ 本決算資料における業績の表示にあたっては、2005 年度第 4 四半期ならびに 2005 年度の数値はいずれも 2005 年より EU が採用した IFRS 基準 (IFRS-EU 会計基準) により記載しているが、比較対象となる前年度の数値 (IFRS-EU 会計基準により表記し直した 2004 年度第 4 四半期ならびに 2004 年度業績) は会計監査を経ていない数字である。本資料の内、付属資料編では 2004 年度第 4 四半期と 2004 年度の業績は 2004 年度適用 IFRS 会計基準により記載しているが、これらの修正数値は 2005 年度適用 IFRS-EU 会計基準との相違により、2005 年度第 4 四半期ならびに 2005 年度の数値とは必ずしも直接の比較が出来ないものとなっている。

⁽²⁾ フランス国内プライベート・バンキング部門の営業収益を 100%含む。

2006年2月14日、ミッシェル・ペブロー会長を議長とするBNPパリバ取締役会は、2005年度第4四半期決算と2005年度決算を承認しました。

2005年度第4四半期は、とりわけ力強い成長

2005年度第4四半期は、1~9月期の好調なペースをさらに上回る増益を達成しました。営業収益は前年同期比17.7%増の56億2200万ユーロとなりました。BNPパリバ・キャピタル⁽³⁾を除く営業収益は、同19.1%増(比較可能ベースでは同11.4%増)でした。

営業費用および減価償却費(BNPパリバ・キャピタルを除く)は、同14.3%増(比較可能ベースでは同6.0%増)の36億6900万ユーロでした。

その結果、営業総利益(BNPパリバ・キャピタルを除く)は、同24.7%増(比較可能ベースでは同22.1%増)の19億5300万ユーロを達成しました。

純利益(グループ帰属)は、前年同期比22.9%増の13億3500万ユーロを実現しました。

2005年度は大幅増益を達成

2005年度は世界経済の好調が続き、企業の財政状態も極めて良好で、欧州そしてアジアの株式相場は急上昇しました。BNPパリバ・グループはグローバルな拡大を続け、こうした景気サイクルを有利に活用することができました。その結果、同グループの営業収益は前年比14.1%増の218億5400万ユーロを達成しました。BNPパリバ・キャピタルを除く営業収益は、同14.6%増でした。このような増益は、目覚ましい有機的成長(BNPパリバ・キャピタル⁽³⁾を除くと比較可能ベースで同11.2%増)と買収の効果が加速度的に現れている結果と言えます。これは、営業収益の伸びにおよそ3.4ポイント寄与しました。

営業費用および減価償却費(BNPパリバ・キャピタルを除く)は、前年比11.1%増(比較可能ベースでは同6.8%増)の133億6900万ユーロでした。営業総利益は同19.2%増の84億8500万ユーロとなりました。営業収支率は1.6ポイント改善して61.2%でした。BNPパリバ・キャピタル⁽³⁾を除く営業総利益は、同20.7%増(比較可能ベースでは同19.3%増)、営業収支率は1.9ポイント改善して62.2%となりました。

引当金純繰入額を前年比28.0%減の6億1000万ユーロに抑えた結果、営業利益は同25.5%の大幅増の78億7500万ユーロを達成しました。

営業外項目は収益に5億4900万ユーロ寄与しました。これは前年比15.1%増でした。法人税は同29.3%増の21億3800万ユーロとなり、少数株主持分は横ばいの4億3400万ユーロでした。

純利益(グループ帰属)は、同25.1%増の58億5200万ユーロを達成しました。これは、プロフィット・シェアリング制度による利益分配が30%増加したことを加味したものです。ROE(株主資本利益率、税引後)は20.2%でした。一株当たり利益は前年比26.3%増の7.02ユーロを実現しました。

取締役会は、配当金を2.60ユーロに増配(前年比30%増)することを、株主総会にてご提案させていただく予定です。

同グループの自己資本比率は2005年12月31日現在で11.0%、Tier1レシオは7.6%でした。

⁽³⁾ IFRS会計基準によると、株式投資(特にプライベート・エクイティ投資)にかかる実現キャピタルゲインは営業収益に含まれる。BNPパリバ・キャピタルのキャピタルゲインは四半期毎に大きく変動するため、BNPパリバ・キャピタルを除いた営業収益、営業総利益および営業収支率の変動を分析することが適切である。



各コア事業の業績

1. リテール・バンキング事業

同事業は 2005 年度も拡大を続け、さらに収益性は向上しました。営業収益は前年比 12.6% 増の 112 億 5000 万ユーロを達成しました。税引前利益は同 22.6% 増の 36 億 5700 万ユーロ、税引前 ROE は 33% (+3 ポイント) となりました。

フランス国内のリテール・バンキング (FRB)

フランス国内のリテール・バンキング拠点網⁽⁴⁾による営業収益は、前年比 6.2% 増の 54 億 5100 万ユーロとなりました。純利息収益は前年比 6.1% 増でしたが、これは融資平均残高の増加 (前年比 13.7% 増) と貯蓄預金の伸び (同 5.0% 増) を受けたものです。手数料収入は、極めて好調であった株式市場と金融取引に伴う手数料収入の増加 (同 14.6% 増) により、同 6.4% 増となりました。

同事業の増益は、顧客数の増加と取引量の伸びによるものであり、価格設定に関する方針に起因するものではありません。当グループは無理のない価格設定を続けており、ほぼ安定的な価格を維持しております。

同事業は個人顧客に照準を当てたセールス・マーケティングが原動力となり、引き続き急ピッチで拡大しました。融資残高はマーケットよりも早いペースで増加し (前年比 18.7% 増)、とりわけモーゲージ貸出 (同 20.9% 増) と消費者ローン (同 7.8% 増) が好調でした。生命保険の預り資産は同 13.8% 増となり、マーケットの伸び (同 11% 増) を上回りました。要求払い・当座預金の口座数は 15 万 5 千口増えました。

法人顧客とくに中小規模の顧客については、新たな事業体制が実を結びました。融資残高は前年比 10.3% 増加しました。さらに、フランス国内の拠点網における他のコア事業との協働体制による各種金融商品の販売は大幅に伸びました。具体的には、コーポレート・ファイナンス業務によるサービス、金利、外国為替ヘッジ商品、機器リースおよび法人向け車両管理サービスなどです。

営業費用および減価償却費は前年比 4.9% 増となりました。これには、2006 年度から 2008 年度までを対象とした従業員向けの新たな専門的研修費用 4000 万ユーロが含まれます。営業総利益は前年比 9.1% 増の 17 億 5200 万ユーロとなりました。営業収支率は同 0.8 ポイント改善して 67.9% でした。

引当金繰入額は同 30.2% 減の 1 億 9400 万ユーロでした。

フランス国内のリテール・バンキング事業の収益の一部を資産運用および証券管理 (AMS) 事業に振り分けた後の、税引前利益は同 16.8% 増の 14 億 7000 万ユーロとなりました。

ROE (税引前) は 2 ポイント上昇して 29% でした。

2006 年度については、

- マルチチャネルのリテール・バンキング組織を有効利用することにより、引き続き個人顧客の満足度を向上させることを目指します。インターネットバンキング・サービスを利用する顧客数を増やし、顧客と頻りに連絡をとることにより、顧客との直接的な関係を基盤としたサービスを提供する支店革新プログラムを続行いたします
- 法人顧客との関係を強化し、当グループの商品およびサービスの協働体制による販売を増やします。
- 無理のない価格設定方針を維持します

⁽⁴⁾ フランス国内プライベート・バンキング部門の営業収益を 100% 含む。

- バック・オフィスの生産性向上を追求します

同事業の 2006 年度の目標は、営業収益の伸び率と営業費用および減価償却費の伸び率との差を最低でも 1 ポイント維持した上で、営業収益の前年比 4.5%以上の増益を達成することです。

海外リテール・バンキングおよび金融サービス事業（IRFS）

営業収益は前年比 19.3%増の 59 億 8000 万ユーロとなりました。同事業の全般的な好業績が、グループの増益に大きく貢献しました。バンクウエストは前年比 21.4%増、セテレムは同 18.2%増、その他のリテール金融サービスは同 11.3%増、エマージング・マーケットは同 29.2%増でした。同事業の営業収益は比較可能ベースでは同 7.3%増となりました。このような目覚ましい有機的成長は、米国西部および地中海地域における新規支店開設プログラムが基盤となっております。

営業費用および減価償却費は前年比 18.9%増（比較可能ベースでは同 4.9%増）の 33 億 8500 万ユーロとなりました。営業総利益は同 19.7%増（比較可能ベースでは同 10.4%増）の 25 億 9500 万ユーロでした。営業収支率は前年度からさらに 0.2 ポイント改善して 56.6%となりました。

引当金繰入額は前年比 4.3%減の 5 億 5900 万ユーロでした。営業利益は同 28.5%増（比較可能ベースでは同 17.9%増）の 20 億 3600 万ユーロ、税引前利益は同 26.9%増の 21 億 8700 万ユーロを達成しました。ROE（税引前）も 3 ポイント上昇して 37%となりました。

バンクウエストは 2005 年度も力強いセールス・マーケティングが原動力となり、個人向け与信は比較可能ベースで前年比 11.1%増、預金残高は同 9.1%増となりました。利ざやは当年度中にさらに 33bp 縮小したにもかかわらず、営業収益は比較可能ベースで前年比 1.3%増となりました。コミュニティ・ファースト・バンクシェアーズおよびユニオン・セーフ・デポジット・バンクの買収成功に続き、12 月にはコマーシャル・フェデラル・バンクの買収により、バンクウエストの営業収益は前年比 21.4%増の 18 億 7700 万ユーロを実現しました。

営業費用および減価償却費には、12 月に実行したコマーシャル・フェデラル・バンクの買収に関連する一時的な費用である 4900 万ユーロが含まれます。引当金は、前年比 20.0%減の 3200 万ユーロでした。税引前利益は同 21.4%増の 9 億 800 万ユーロを達成しました。

セテレムの事業は、フランス国内では第 4 四半期に実効のレーザー・コフィノガに対するジョイント・コントロールもあり、またフランス国外も含め引き続き好調でした。2005 年 12 月 31 日現在の融資残高はレーザー・コフィノガによる寄与分を含めると 470 億ユーロとなりました。営業収益は前年比 18.2%増の 20 億 1500 万ユーロとなりました。またセテレムは、レーザー・コフィノガによる寄与を除いても好調な業績を達成し、営業収益は比較可能ベースで前年比 8.3%増となりました。引当金の増加を同 2.3%増に抑制し、営業外項目の収益寄与が増加したことから、税引前利益は同 26.5%増の 6 億 3000 万ユーロを達成しました。

UCB は、とくにフランスとイタリアにおける不動産市場の活況を有効に活用し、2005 年度の貸出残高はアビー・ナショナル・フランスの買収分を含め連結ベースで前年比 38.9%増となりました。BNP パリバ・リース・グループは、高い収益性のもとに欧州全域にわたって拡大しました。アルバルは、引き続き急拡大を続け、融資残高は前年比 17.5%増となりました。また、ブラジル、トルコ、ロシア、ウクライナに新規拠点を開設しております。その結果、これら 3 つの金融サービス子会社の営業収益は前年比 11.3%増の 13 億 1000 万ユーロ、税引前利益は同 20.3%増の 4 億 5600 万ユーロを達成しました。

エマージング/海外市場における、リテール・バンキング業務は極めて好調でした。2005 年度中に 70 店の新規拠点を開設し、当グループのその他の業務ライン（プライベート・バンキング、リテール金融サービス、エクスポート・ファイナンスなど）とのシナジー効果も現れています。そして、とくにトルコでの付加価値の高い買収も相俟って、営業収益は前年比 29.2%増の 7 億 6600 万ユーロと高い増益を達成しました。

このような成長の原動力は 2006 年度も、とくに東欧諸国に広がりつつ継続すると思われま。目下、ウクライナにおいてウクルシバンクの 51% 持分取得を進めており、ロシアでも業務拡大プログラムを導入したところです。

エマージング / 海外市場における同業務の税引前利益は前年比 47.3% 増の 2 億 6800 万ユーロを達成しました。

海外リテール・バンキングおよび金融サービス事業の 2006 年度の目標は、持続的な有機的成長と選別的な買収による成長を複合した積極的な戦略を遂行することです。

- 東欧や地中海地域において新規拠点の開設を増やし、かつ当グループの商品プラットフォームとのシナジー効果を有効に利用することにより、エマージング/海外市場における拡大のペースアップを目指します
- 拠点網と商品提供の拡大を通じて、引き続きバンクウェストの成長を図ります
- パートナリシップ提携を通じ、またロシア・中国などの有望市場に参入することにより、セテレムの新たな成長のソースを開発します
- 買収によるコスト削減効果を有効に活用します

2. 資産運用および証券管理 (AMS) 事業

当期も堅調な収益成長を達成しました。営業収益は前年比 16.7% 増の 35 億 5200 万ユーロとなったほか、新規受託資産も前年実績 (142 億ユーロ) を大幅に上回る 341 億ユーロに伸びました。結果として、受託資産総額は 4297 億ユーロに達しました。AMS 事業の全てのビジネス・ラインがそうしたダイナミックな収益成長に寄与する形となり、富裕層向け資産運用業務の営業収益は同 15.4% 増、保険事業は同 17.3% 増、証券管理事業は同 19.0% 増までそれぞれ伸びを示しました。

営業費用および減価償却費は前年比 17.1% 増の 23 億 3100 万ユーロと、当事業に対する高水準の投資を反映し、前年比で増加となりました。営業総利益は同 15.8% 増の 12 億 2100 万ユーロ、税引前利益は同 19.5% 増の 12 億 6600 万ユーロとなりました。

富裕層向け資産運用業務に関しては、持続的な販売促進努力を行った結果、株式および不動産市況の好調により多分に恩恵を受けることとなりました。税引前利益は同 15.8% 増の 5 億 4100 万ユーロに伸びたほか、ユーロ・マネー誌以下、多くの業界紙でも上位にランクされました。2006 年 1 月号のユーロ・マネーでは、BNP パリバのプライベート・バンキングはフランス国内で第 1 位となったほか、欧州全体で第 3 位、アジア・中南米市場でも第 7 位に評価されることとなりました。資産運用およびコータル・コンソール、不動産サービス事業のラインともに大幅な事業拡大と増収を達成しました。

保険事業もセールス・マーケティングが原動力となり、受託資産の大幅増につながりました。フランスの国内外で受託資産は順調に伸び、うちフランス国内では個人貯蓄型保険商品の販売額が 82 億ユーロ (うち 3 分の 1 は単位型保険商品) に伸びたほか、フランス国外の年間受託資産額も前年比 19% 増の 35 億ユーロとなりました。税引前利益もまた同 24.2% 増の 5 億 8000 万ユーロへ急増しました。

証券管理事業の証券保管管理 (カストディ) 受託資産残高は、前年比 24% 増の 3 兆 580 億ユーロへ伸びました。その他管理受託資産残高はさらに急速な伸びとなり (期末残高は 5200 億ユーロ)、ファンズ・ヨーロッパ誌の 2005 年 11 月号では BNP パリバが年間最優秀ファンド・アドミニストレーター (Fund Administrator of the Year) に選出されました。このように、取引件数が再び増加しつつあるマーケットにおいて、BNP パリバの証券管理事業の税引前利益は同 16.0% 増の 1 億 4500 万ユーロまで順調に拡大しました。

2006 年度においても、AMS 事業は有力かつ革新的なプラットフォーム (事業基盤) として、その成長原動力をフルに活用すべく、まい進して参ります。先進的なアプローチとともに、その優れた商品ラインナップ (オープン・アーキテクチャー、オルタナティブおよびストラクチャード運用商品、不動産関連の投資ファンドなど) を多に活用できるよう努めます。欧州全域での事業拡大をより強化し、特に昨年 6 月の米国ファンドクエスト (資産運用総合請負業者、TAMP 大手の一つ) の買収を生かし、不動産および証券管理サービスにおけるマルチ・マネジメントの提携強化を図ります。さらにコータル・コンソールに関してもドイツ国内の収益成長を目指すほか、AMS 事業全体として欧州域外での収益成長のペースアップ

も図っていきます。具体的には中東やアジア、中南米諸国における保険、資産運用、プライベート・バンキングを中心に展開していく予定です。

2005 年度の相当額の投資を受け、AMS 事業は営業収益の伸びで営業費用・減価償却の増加も抑制する、ポジティブな効果を存分に追求して参ります。

3. コーポレート・バンキングおよび投資銀行（CIB）事業

CIB 事業ではこの 1 年、そのビジネス・モデルの適切性が確認されました。当期も巨大なグローバル組織と広範かつバランスの取れたプロダクト・レンジの強力なコンビネーションを活かし、引き続き堅調な有機的成長を果たしました。

BNP パリバの CIB 事業は欧州市場において最大手の一角に属し、2005 年度においても引き続き各種金融取引の業界ランキングで上位⁽⁵⁾につけました。まずユーロ建て社債発行において第 3 位、レバレッジド・ローンのアレンジャー実績で第 5 位、M&A 取引では第 10 位となりました。そうした欧州最大手の位置付けに加え、4 つのグローバル・フランチャイズを展開し、米国および日本においても強いプレゼンスを得ています。そのフランチャイズ一つとしてデリバティブがあり、当期も BNP パリバ・グループの専門ノウハウが高く評価されることになりました。例えばリスク・マガジンでは、金利デリバティブのグローバル・ハウス・オブ・ザ・イヤーに、アジア・リスクでは日本市場におけるデリバティブ・ハウス・オブ・ザ・イヤーに選出されました。このフランチャイズにはさらに、高度なファイナンス分野としてエネルギー/コモディティ・ファイナンス（ベスト・コモディティ・バンク⁽⁶⁾）、プロジェクト・ファイナンス（ベスト・プロジェクト・ファイナンス・ハウス⁽⁷⁾）、シンジケート・ローン（世界第 5 位⁽⁵⁾）が含まれます。この他、成長市場として注目される中国本土やブラジル、ロシアでも CIB 事業はすでに有力なプレゼンスを築いており、今後も一層の成長機会を追究していく構えです。

2005 年度において、CIB の営業収益は前年比 16.3%増の 64 億 2200 万ユーロに伸びました。これは特にファイナンスのビジネス・ライン（同 18.9%の増収）ならびに資本市場関連のビジネス（同 14.5%増）をけん引役とするもので、マーケット・ビジネスの VaR を増加させずにセールス・マーケティング努力を継続的に行ったことが奏効しました。

営業費用および減価償却費は、比較的小幅な増加（同 10.4%増の 37 億 1100 万ユーロ）にとどまり、結果として営業収支比率も 57.8%と、グローバル金融サービス・グループのこの種のビジネスとしては最低水準を引き続き維持することができました。営業総利益も同 25.4%増の 27 億 1100 万ユーロへ大幅増となりました。

新規の引当金繰入額は 2005 年を通じ非常に限定的となり、通期では 2005 年第 1 四半期における繰戻しすら下回る額となりました。そうした例外的な状況を受け、営業利益は同 36.4%増の 28 億 4100 万ユーロへ好調に伸びました。これは営業総利益を 1 億 3000 万ユーロ上回る水準です。

税引前利益は前年比 35.3%増の 28 億 9000 万ユーロに伸びました。また ROE（税引前）も前年度実績を 3 ポイント上回る 32%へ改善しました。

2006 年度において CIB は引き続き、そのフランチャイズ強化と競争力向上に取り組む意向です。特にデリバティブ・ビジネスのチーム・ワークを一層強化し、専門的ファイナンス業務の顧客とのクロスセリングをさらに増強することで、資本市場関連のビジネス・ラインを一層拡充して参ります。CIB 事業は、欧州市場では中堅有力企業に照準を合わせた展開、米国市場では従来からの選別的成長路線を続行するなど、プライオリティの高い地域市場でのシェア強化を図っていきます。またアジア市場を実質的なコア・マーケットとして開拓していくことも計画しています。この他、業界最高レベルの低水準の営業収支比率を維持することも CIB の目標の一部となっています。さらには、このコア・ビジネスに対する割当資本の生産性向上にも、重点的に取り組んで参ります。

⁽⁵⁾ 出所：ファイナンシャル誌（公表された M&A 取引）

⁽⁶⁾ 出所：トレード・ファイナンス誌

⁽⁷⁾ 出所：ユーロ・マネー誌

BNP パリバ・キャピタル

BNP パリバ・キャピタルの税引前利益は前年比 17.5%減の 5 億 4400 万ユーロとなりました。同グループは引き続き戦略的に直接投資資産の売却を進め、上期には Carbone Lorraine への投資株式を売却したほか、Eiffage への出資分も売却しました。他方、ギャラリー・ラファイエット (Galeries Lafayette) グループの持ち株会社である Motier に対する持ち分を新たに取得しました。結果として、2005 年度中の投資回収額はネットで 3 億ユーロとなりました。

そうした売り越しにもかかわらず、一部運用対象の評価額上昇を受け、ポートフォリオ評価額は 2004 年度 12 月末の 38 億ユーロから、2005 年 12 月末の 44 億ユーロへむしる増加となりました。また期末の未実現キャピタル・ゲインも 16 億ユーロと、期初の 13 億ユーロより増加しました。

BNP パリバ・キャピタルの収益に占める、プライベート・エクイティの構成比は引き続き低下することが予想されます。これは当事業に関してここ数年間、実施されてきた戦略に沿った展開でもあります。



過去 2 年間、特に 2005 年度においては、景気循環的に好況となったことを受け、リスク費用を非常に限定的な額に留めることができました。BNP パリバは慎重な信用リスクの管理および与信方針を維持すべく、努めました。パーゼル II の新自己資本規制に準拠した高度な内部モデルの承認プロセスの最終段階として、リスク管理アプリケーションの整備にも相当額の投資を行いました。目下は、特にオペレーショナル・リスクの監視と回避に関する詳細な分析を行っています。

グローバルな拡大戦略の下、BNP パリバは組織内の文化の多様化にも取り組んでいます。社員の半分がフランス国外の拠点に属すほか、グループの要職に就く人材は約 40 の国籍にわたります。そうした企業風土を一段と拡大し、各地の倫理的ビジネス慣行へのコミットメントを醸成するため、また、より一般的には BNP パリバ・グループのコーポレート・バリューを浸透させるべく、特別な研修プログラムを社員に対し実施しております。



目下進行中のイタリアの銀行大手イタリア・ラボロ銀行 (BNL) の買収⁽⁸⁾は、BNP パリバに、欧州における新たな原動力と基盤を提供することになると見込まれます。

イタリアの金融サービス市場はその規模と急速な成長ペースの両方で、欧州では最も注目される市場の一つとなっています。BNL はクリティカル・マス (臨界規模) をすでに達成しており、かつイタリア全土にわたる店舗網と、自国市場における確固たるブランド力を有しています。

BNP パリバは、BNL の変革プロセスの加速化とクロスセリングの促進、さらには BNL の販売・マーケティング戦略のテコ入れを図るべく、同行と専門的ノウハウを共有していく意向です。BNP パリバのプロダクト面の専門ノウハウとイタリア国内における強力なプレゼンスをメリットに、BNL もまたより幅広い商品提供と、リテール・バンキングおよびコーポレート・バンキング事業の拡大を果たすための経営資源を得ることになるでしょう。BNL の顧客はより大規模な新しいグローバル組織に対するアクセスを得られることにもなります。

⁽⁸⁾ 当局承認を条件とする。

BNP パリバが過去、数々の M&A 取引を成功させてきたことはその実績が物語るところです。1999～2000 年にかけての BNP とパリバの合併で得た幅広い経験を糧として、以後 35 件以上にのぼる買収案件に取り組んできました。地域的には欧州のみならず、米国やエマージング・マーケットにも及びます。グループは BNL 買収に関しても、同行に妥当な方法での経営統合を行う意向です。BNL のコーポレート・アイデンティティおよびその企業風土を尊重しつつ、同行の強みを生かすという方法です。2008 年頃には早くも、合併によるコスト効率の向上を通じ、資本コストを上回る投下資本リターンが確保されるものと予想されます。

BNL の買収は 55 億ユーロのライト・イシュー（株主割当発行増資）による調達と、ハイブリッド証券の発行（約 20 億ユーロ）で賄われる予定です。結果として、BNP パリバの Tier 1 自己資本比率は 7% 以上に保たれることになり、かつ 2008 年度には BNL 買収が株主利益にも資する要因となることが見込まれます。



以上の決算内容に対し、BNP パリバのボードゥアン・プロ最高経営責任者（CEO）は次のようにコメントしました。

「2005 年度通期決算は BNP パリバが、実体ある高い収益力を発揮しながらも、各コア事業が貢献する形で更に力強い成長を遂げていることを示すものとなりました。グループの拡大は、BNL の買収によっても重要な転換点を迎えることになると思われます。同行買収は確固たる戦略的根拠に基づく、有望な事業展開となるものであり、当グループは欧州域内における新たなホーム・マーケットが獲得できると考えております。」

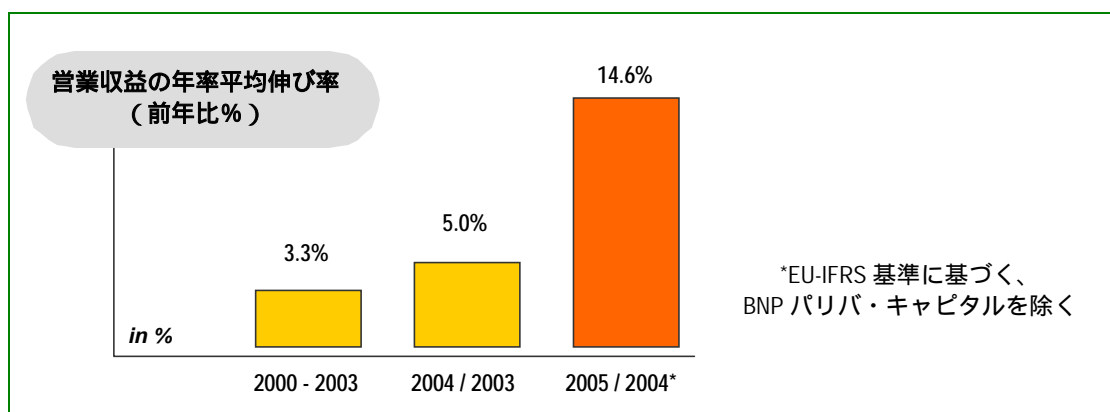
連結損益計算書

(単位：百万ユーロ)	4Q05	4Q05/ 4Q04 EU-IFRS	4Q05/ 3Q05	2005	2005/ 2004 EU-IFRS
営業収益	5,622	+17.7%	+3.0%	21,854	+14.1%
営業費用および減価償却費	-3,669	+14.3%	+9.1%	-13,369	+11.1%
営業総利益	1,953	+24.7%	-6.8%	8,485	+19.2%
引当金	-293	x2,1	x2,8	-610	-28.0%
営業利益	1,660	+16.4%	-16.6%	7,875	+25.5%
関連会社損益	92	-2.1%	+9.5%	352	-13.3%
その他の営業外項目	72	n.s.	n.s.	197	n.s.
営業外損益	164	+57.7%	+76.3%	549	+15.1%
税引前利益	1,824	+19.2%	-12.5%	8,424	+24.8%
法人税	-358	+9.5%	-43.0%	-2,138	+29.3%
少数株主持分	-131	+12.0%	+13.9%	-434	+3.3%
グループ帰属純利益	1,335	+22.9%	-0.4%	5,852	+25.1%
営業収支率	65.3%	-1.9 pt	+3.7 pt	61.2%	-1.6 pt
BNP パリバ・キャピタルを除く	64.7%	-2.7 pt	+2.7 pt	62.2%	-1.9 pt
税引後 ROE 年率				20.2%	+2.2 pt

連結対象や為替変動の影響を除いた比較可能ベースで、BNP パリバ・キャピタルを除く：

2005 年度第 4 四半期の営業収益は前年同期比 11.4% 増、営業費用および減価償却費は同 6.0% 増、営業総利益は同 22.1% 増、税引前利益は同 17.3% 増
2005 年度通期の営業収益は前年比 11.2% 増、営業費用および減価償却費は同 6.8% 増、営業総利益は同 19.3% 増、税引前利益は同 27.1% 増

2004 年度第 4 四半期および 2004 年度の変化率は、EU IFRS (IAS32 および 39、IFRS4 を含む) に準拠したものである。この手法が、31 ~ 35 ページを除く本決算資料を通じて採用されている。31 ~ 35 ページに関しては、IFRS 2004 (IAS32 および 39、IFRS4 を除く) に準拠した 2004 年度第 4 四半期および 2004 年度の数字をベースに変化率が算出されている。



- コア事業による大幅な営業収益の伸び：前年比 26 億 6800 万ユーロの増収
- 力強い有機的成長 (+11.2%)
 - フランス国内では個人向け口座として 15 万 5 千口座の純増
 - 世界 115 ヶ所にリテール店舗を新規開設
 - 新規資金流入額は記録的な 341 億ユーロ
 - CIB の対顧客取引による大幅増収
- 照準を絞った買収戦略による増収効果 (+3.4%)

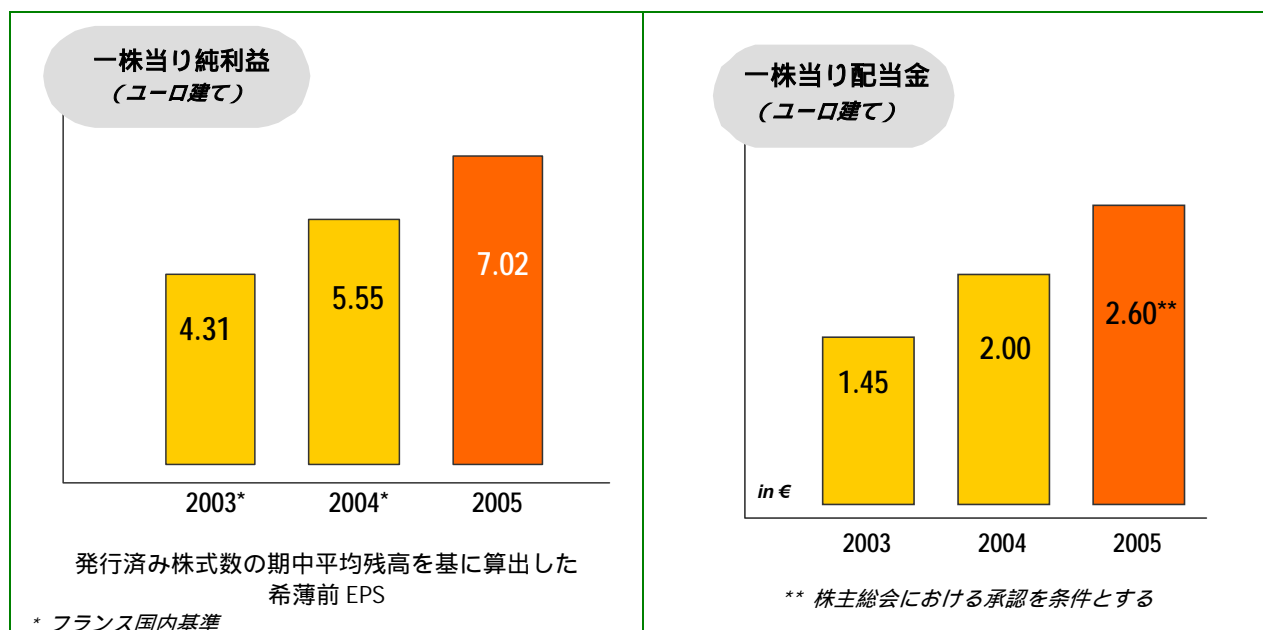
2005 年度第 4 四半期のコア事業の業績

	リテール・バン キング事業	プライベート・バ ンキングおよび 資産運用事業	コーポレート・ バンキングおよ び投資銀行事業	BNP パリバ・ キャピタル	その他	グループ 全体 (合計)
(単位：百万ユーロ)						
営業収益	3,045	987	1,600	-39	29	5,622
対前年同期比 (EU-IFRS)	+20.9%	+21.1%	+16.9%	n.s.	n.s.	+17.7%
対前期比 (EU-IFRS)	+8.5%	+13.4%	-5.2%	n.s.	n.s.	+3.0%
営業費用および減価償却費	-1,979	-657	-926	-7	-100	-3,669
対前年同期比 (EU-IFRS)	+21.0%	+19.5%	+6.8%	+0.0%	n.s.	+14.3%
対前期比 (EU-IFRS)	+15.6%	+12.9%	-4.3%	+40.0%	n.s.	+9.1%
営業総利益	1,066	330	674	-46	-71	1,953
対前年同期比 (EU-IFRS)	+20.7%	+24.5%	+34.3%	n.s.	n.s.	+24.7%
対前期比 (EU-IFRS)	-2.6%	+14.6%	-6.4%	n.s.	n.s.	-6.8%
引当金	-251	0	-16	-1	-25	-293
対前年同期比 (EU-IFRS)	+45.1%	n.s.	-38.5%	-50.0%	n.s.	+109.3%
対前期比 (EU-IFRS)	+50.3%	n.s.	n.s.	+0.0%	n.s.	+179.0%
営業利益	815	330	658	-47	-96	1,660
対前年同期比 (EU-IFRS)	+14.8%	+25.5%	+38.2%	n.s.	n.s.	+16.4%
対前期比 (EU-IFRS)	-12.2%	+15.0%	-14.4%	n.s.	n.s.	-16.6%
関連会社損益	16	1	1	76	-2	92
その他の営業外項目	11	0	12	0	49	72
税引前利益	842	331	671	29	-49	1,824
対前年同期比 (EU-IFRS)	+13.0%	+23.0%	+36.7%	-48.2%	n.s.	+19.2%
対前期比 (EU-IFRS)	-14.4%	+16.1%	-12.2%	-56.7%	n.s.	-12.5%
(単位：百万ユーロ)						
営業収益	3,045	987	1,600	-39	29	5,622
4Q04 EU-IFRS	2,519	815	1,369	24	49	4,776
3Q05	2,807	870	1,688	42	51	5,458
営業費用および減価償却費	-1,979	-657	-926	-7	-100	-3,669
4Q04 EU-IFRS	-1,636	-550	-867	-7	-150	-3,210
3Q05	-1,712	-582	-968	-5	-95	-3,362
営業総利益	1,066	330	674	-46	-71	1,953
4Q04 EU-IFRS	883	265	502	17	-101	1,566
3Q05	1,095	288	720	37	-44	2,096
引当金	-251	0	-16	-1	-25	-293
4Q04 EU-IFRS	-173	-2	-26	-2	63	-140
3Q05	-167	-1	49	-1	15	-105
営業利益	815	330	658	-47	-96	1,660
4Q04 EU-IFRS	710	263	476	15	-38	1,426
3Q05	928	287	769	36	-29	1,991
関連会社損益	16	1	1	76	-2	92
4Q04 EU-IFRS	32	2	-1	40	21	94
3Q05	33	0	1	30	20	84
その他の営業外項目	11	0	12	0	49	72
4Q04 EU-IFRS	3	4	16	1	-14	10
3Q05	23	-2	-6	1	-7	9
税引前利益	842	331	671	29	-49	1,824
4Q04 EU-IFRS	745	269	491	56	-31	1,530
3Q05	984	285	764	67	-16	2,084
少数株主持分						-131
法人税						-358
税引前利益						1,335

- 営業収益の好調な伸び：前年同期比 19.1% 増（比較可能ベースでは同 11.4% 増、BNP パリバ・キャピタルを除く）
- リスク費用：2 億 9300 万ユーロ（2004 年度第 4 四半期の 1 億 4000 万ユーロより増加）、特にトレンド的な悪化なし
 - 継続ベースのコア・ビジネスにかかるリスク費用：比較可能ベースで前年同期比 2500 万ユーロ（12.1% 増）
 - 連結対象変更による影響：4600 万ユーロ
 - その他ビジネス：一時的な引当金繰入 2500 万ユーロ（2004 年度第 4 四半期は 6300 万ユーロの繰戻し）
- 営業利益：比較可能ベースで前年同期比 17.1% 増（BNP パリバ・キャピタルを除く）

2005 年度のコア事業の業績

(単位：百万ユーロ)		リテール・バン	プライベート・バ	コーポレート・バ	BNP パリバ・	その他	グループ
		キング事業	ンキングおよび 資産運用事業	ンキングおよび 投資銀行事業	キャピタル		全体 (合計)
営業収益		11,250	3,552	6,422	384	246	21,854
	2004 EU-IFRS	+12.6%	+16.7%	+16.3%	-7.9%	n.s.	+14.1%
営業費用および減価償却費		-6,990	-2,331	-3,711	-23	-314	-13,369
	2004 EU-IFRS	+11.2%	+17.1%	+10.4%	-23.3%	n.s.	+11.1%
営業総利益		4,260	1,221	2,711	361	-68	8,485
	2004 EU-IFRS	+15.0%	+15.8%	+25.4%	-6.7%	n.s.	+19.2%
引当金		-754	-8	130	-3	25	-610
	2004 EU-IFRS	-12.5%	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	-28.0%
営業利益		3,506	1,213	2,841	358	-43	7,875
	2004 EU-IFRS	+23.3%	+15.6%	+38.4%	-7.5%	n.s.	+25.5%
関連会社損益		112	1	3	127	109	352
その他の営業外項目		39	52	46	59	1	197
税引前利益		3,657	1,266	2,890	544	67	8,424
	2004 EU-IFRS	+22.6%	+19.5%	+35.3%	-17.5%	n.s.	-24.8%
少数株主持分							-434
税引前利益							-2,138
グループ帰属純利益							5,852
税引後 ROE 年率							20.2%

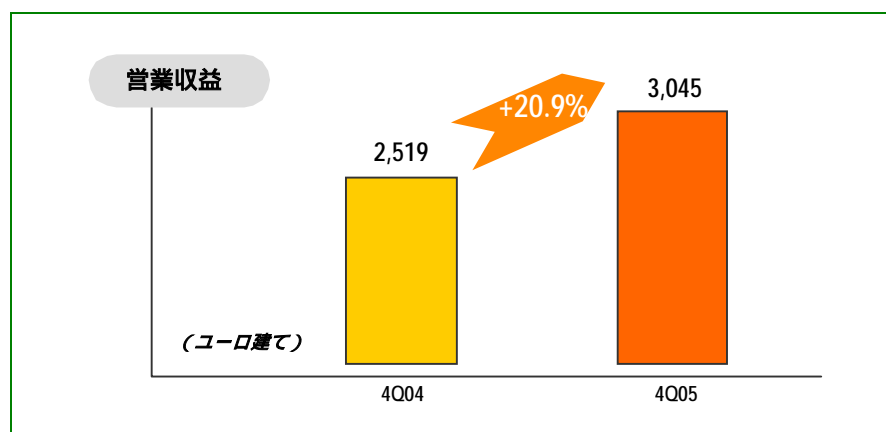


2003 ~ 2005 年度の累計ベース年率伸び率

一株当り純利益は年率 27.6% 増
 一株当り配当金は同 33.9% 増

リテール・バンキング事業

	4Q05	4Q05/ 4Q04 EU-IFRS	4Q05 /3Q05	2005	2005/ 2004 EU-IFRS
(単位：百万ユーロ)					
営業収益	3,045	+20.9%	+8.5%	11,250	+12.6%
営業費用および減価償却費	-1,979	+21.0%	+15.6%	-6,990	+11.2%
営業総利益	1,066	+20.7%	-2.6%	4,260	+15.0%
引当金	-251	+45.1%	+50.3%	-754	-12.5%
営業利益	815	+14.8%	-12.2%	3,506	+23.3%
営業権の償却費	16	-50.0%	-51.5%	112	-8.9%
その他の営業外項目	11	n.s.	n.s.	39	n.s.
税引前利益	842	+13.0%	-14.4%	3,657	+22.6%
営業収支率	65.0%	+0.1 pt	+4.0 pt	62.1	-0.8 pt
割当株主資本 (10 億ユーロ)				11.0	+11.7%
税引前 ROE				33%	+3 pt

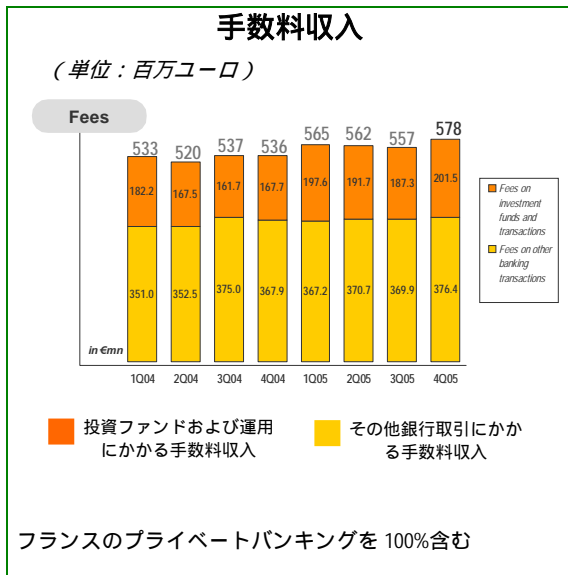


国内リテール・バンキング*

(単位: 百万ユーロ)	4Q05	4Q05/ 4Q04 EU-IFRS	4Q05/3Q05	2005	2005/ 2004 EU-IFRS
営業収益	1,386	+8.6%	+1.4%	5,451	+6.2%
内利ざや	808	+9.2%	-0.2%	3,189	+6.1%
内手数料、その他	578	+7.8%	+3.8%	2,262	+6.4%
営業費用および減価償却費	-970	+8.4%	+4.1%	-3,699	+4.9%
営業総利益	416	+9.2%	-4.4%	1,752	+9.1%
引当金	-68	-13.9%	+70.0%	-194	-30.2%
営業利益	348	+15.2%	-11.9%	1,558	+17.3%
営業外損益	0	n.s.	n.s.	0	n.s.
税引前利益	348	+15.2%	-11.9%	1,558	+17.3%
AMS 帰属収益	-21	+31.3%	-8.7%	-88	+27.5%
税引前利益	327	+14.3%	-12.1%	1,470	+16.8%
営業収支率	70.0%	-0.1 pt	+1.8 pt	67.9%	-0.8 pt
割当株主資本 (10 億ユーロ)				5.1	+9.1%
税引前 ROE				29%	+2 pt

* 営業収益から税引前利益までの項目に国内リテール・バンキングの 100%を含む

- 大きく業績拡大：営業収益は前年同期比 8.6%増
 - 純利ざやは大幅上昇：貸出残高の伸びと第 4 四半期における「ホーム・オーナーシップ・セイビングス・プラン」関連の引当金へのポジティブなインパクト（通期収益に対する軽微な影響にとどまる）
 - 第 4 四半期の株式およびその他金融市場取引が非常に高水準
 - 適度なプライシング方針：2005 年度を通じ料率はほぼ安定推移
- 2005 年度第 4 四半期の営業費用および減価償却費：2006～2008 年度を対象とした社員向け専門的研修費用として 4000 万ユーロを計上
- リスク加重資産（RWA）にかかるリスク費用の低減を確認：2005 年度通期では 25bp（2004 年度実績は 39bp）



貸出総額、預金および預り資産

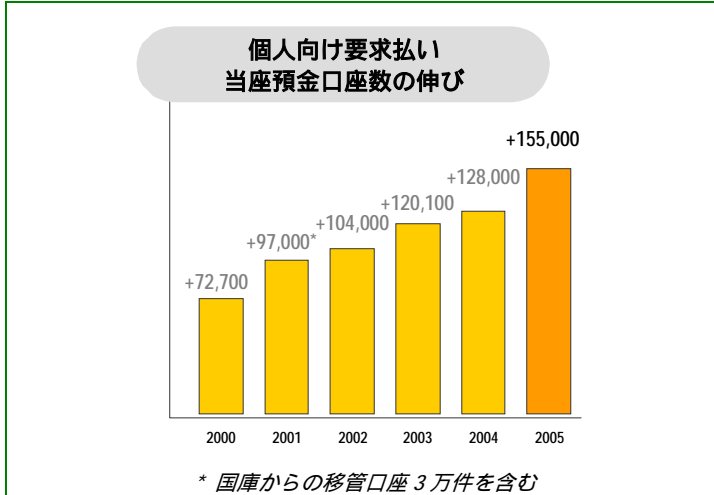
(単位: 10億ユーロ)	2005年度 第4四半期	対前年 同期比	対前期比	2005年度 平均	対前年 同期比
貸出総額 (1)	90.3	+11.3%	+2.2%	87.2	+13.7%
個人向け	47.1	+17.1%	+3.4%	44.5	+18.7%
(モーゲージ・ローン 消費者ローンを含む)	39.9	+18.9%	+3.6%	37.6	+20.9%
7.2	+7.7%	+2.1%	7.0	+7.8%	
法人向け	40.3	+6.6%	+0.8%	39.7	+10.3%
預金および預り資産 (1)	78.1	+4.9%	0.0%	77.3	+5.0%
要求払い・当座預金	32.6	+5.7%	+0.5%	31.9	+5.4%
貯蓄預金	37.9	+4.7%	-0.4%	37.9	+5.9%
市場金利預金	7.7	+2.5%	-0.3%	7.5	-0.5%

(1) 平均残高

(単位: 10億ユーロ)	2005年度 第4四半期	対前年 同期比	対前期比
預り資産			
生命保険	45.8	+13.8%	+2.2%
投資信託 (2)	65.7	+11.8%	+1.7%

(2) フランス国外を拠点とする投資信託（パーベストなど）は含まない

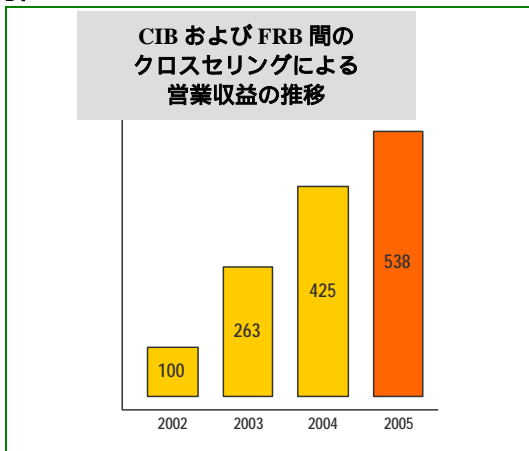
個人向け



引き続き顧客ベースは拡大

- マルチチャネル・バンキングの成功を確認
 - マルチチャネル・カスタマーコンタクト・システムによる顧客開拓：前年比 40% 増
 - bnpparibas.net のポータル利用：同 30% 増
- 貸出残高の大幅増
 - モーゲージ：前年比 20.9% 増（市場平均は 13.7% 増）
 - 消費者ローン：同 7.8% 増（市場平均は 5.5% 増）
- 貯蓄型商品への資金流入が加速：
 - 生命保険：受託残高は 2004 年度 12 月末に比べ 13.8% 増
 - 中長期ミューチュアル・ファンド：同 11.8% 増

法人取引



特に中小企業に照準を合わせた、各ビジネス・センターにおける大規模な販促策

- クロスセリングの拡大
 - コーポレート・ファイナンスの手数料収入：2004 年度実績に比べほぼ倍増
 - フィクストインカム分野の手数料収入：同 50% 増、うち金利デリバティブ関連が同 85% 増
 - 新規のエクイップメント・リース：同 26% 増
 - アルバル（車両リース）の取扱高：同 40% 増
- シェアが引き続き上昇
 - 法人向け貸出の期中平均残高は前年比 10.3% 増（シェアは 5.2% ポイントの上昇）
 - 新規ファクタリング・ローン：同 33% 増

2006 年度における FRB の展開：プラオリティと経営課題

- 着実に顧客満足度を高める（マルチチャネル・バンキング）
 - インターネット：顧客による利用度向上を促す
 - 顧客との接触・連絡をより拡大
 - 拠点内のサービス・プログラムを引き続き拡充：300 店舗を改装
- 法人顧客
 - クロスセリングの強化
 - 顧客との取引関係をより深耕
- バックオフィスの生産性向上

2006 年度通期の営業収益として少なくとも前年比 4.5% の伸びを達成する
営業収益の伸び率とコスト増加率の間に少なくとも 1% ポイントのギャップを確保する

海外リテール・バンキングおよび金融サービス (IRFS)

- 成長の原動力：2005 年度通期営業収益は前年比 19.3% 増の 60 億ユーロ

(単位：百万ユーロ)	4Q05	4Q05/4Q04 EU-IFRS	4Q05/ 3Q05	2005	2005/2004 EU-IFRS
営業収益	1,704	+32.9%	+14.7%	5,980	+19.3%
営業費用および減価償却費	-1,033	+35.2%	+28.6%	-3,385	+18.9%
営業総利益	671	+29.5%	-1.6%	2,595	+19.7%
引当金	-183	+94.7%	+45.2%	-559	-4.3%
営業利益	488	+15.1%	-12.2%	2,036	+28.5%
関連会社損益	16	-50.0%	-51.5%	112	-8.9%
その他の営業外項目	11	n.s.	n.s.	39	n.s.
税引前利益	515	+12.2%	-15.8%	2,187	+26.9%
営業収支率	60.6%	+1.0 pt	+6.5 pt	56.6%	-0.2 pt
割当株主資本 (10 億ユーロ)				5.8	+14.2
税引前 ROE				37%	+3 pt

比較可能ベースで：

前年同期比の営業収益は 9.8% 増、営業費用および減価償却費は同 9.4% 増、営業総利益は 10.3% 増、税引前利益は 6.1% 増
前年比の営業収益は 7.3% 増、営業費用および減価償却費は同 4.9% 増、営業総利益は 10.4% 増、税引前利益は 17.4% 増

- Laser-Cofinoga (フランス大手の消費者金融) は 1 四半期、コマーシャル・フェデラル (Commercial Federal 米国商業銀行) は 1 ヶ月間、連結対象として比例配分で収益計上
- リスク費用：第 4 四半期は前年同期比 8900 万ユーロの増加
 - うち連結対象および為替変動による影響：4100 万ユーロ
 - うちエマージング・マーケット向け：第 4 四半期は 2000 万ユーロの引当金繰入、前年同期の 100 万ユーロより増加 (2005 年度通期では 1600 万ユーロと、2004 年度の 2900 万ユーロを下回る)

バンクウエスト

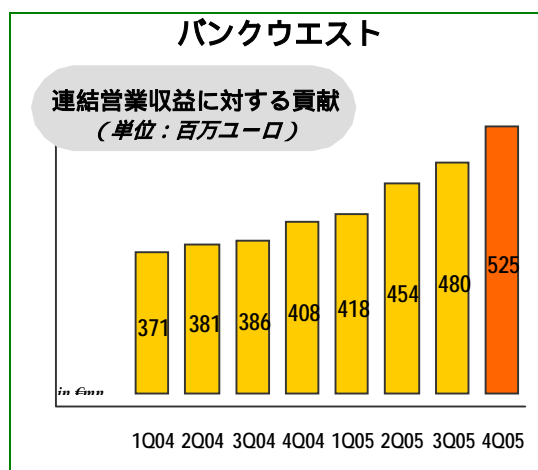
バンクウエストとその子会社の IRFS 事業への収益貢献

(単位：百万ユーロ)	4Q05	4Q05/4Q04 EU-IFRS	4Q05/ 3Q05	2005	2005/2004 EU-IFRS
営業収益	525	+28.7%	+9.4%	1,877	+21.4%
営業費用および減価償却費	-293	+30.8%	+30.8%	-937	+23.6%
営業総利益	232	+26.1%	-9.4%	940	+19.3%
引当金	-8	+14.3%	-11.1%	-32	-20.0%
営業利益	224	+26.6%	-9.3%	908	+21.4%
関連会社損益	0	n.s.	n.s.	0	n.s.
その他の営業外項目	0	n.s.	n.s.	0	n.s.
税引前利益	224	+26.6%	-9.3%	908	+21.4%
営業収支率	55.8%	+0.9 pt	+9.1 pt	49.9%	+0.9 pt
割当株主資本 (10 億ユーロ)				2.0	+23.4%
税引前 ROE				46%	-1 pt

比較可能ベースで：

前年同期比の営業収益は 4.0% 増、営業費用および減価償却費は同 1.3% 減、営業総利益は 9.0% 増、税引前利益は 9.4% 増
前年比の営業収益は 1.3% 増、営業費用および減価償却費は同 2.1% 減、営業総利益は 4.5% 増、税引前利益は 6.2% 増

- 力強い収益成長：営業収益は 2004 年第 4 四半期比 28.7% 増
 - 12 月 2 日付でコマーシャル・フェデラルを統合
 - 貸出残高：比較可能ベースで同 11.1% 増
 - 預金：比較可能ベースで同 9.1% 増
 - 営業収益：利ざやの悪化 (2005 年度第 4 四半期は 3.51%、第 3 四半期の 3.61% および前年同期の 3.84% を下回る) にもかかわらず、営業収益は比較可能ベースで同 4.0% 増
- 営業費用：コマーシャル・フェデラル買収にかかる特別費用 (4900 万ユーロ)
- リスク費用は依然として非常に低水準：2005 年度第 4 四半期は 800 万ユーロ、通期は 3200 万ユーロ
- 税引前利益：前年同期比 26.6% 増の 2 億 2400 万ユーロ (比較可能ベースでは同 9.4% 増)



セテレム

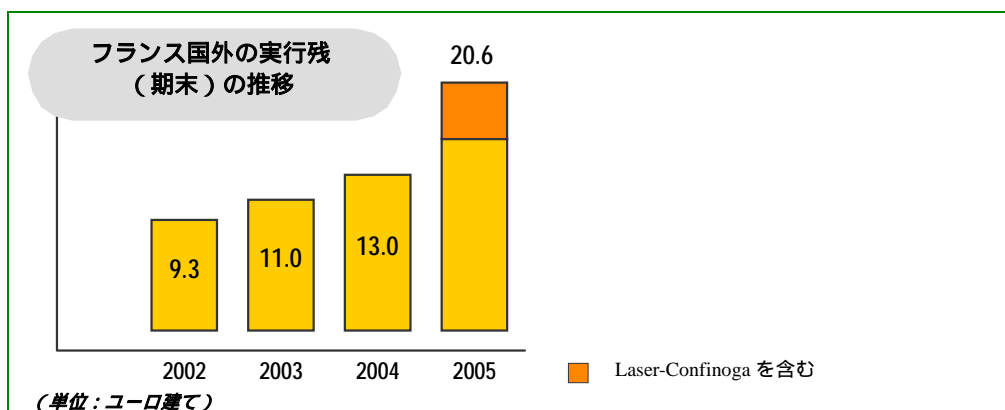
セテレムとその子会社の IRFS 事業への収益貢献

(単位：百万ユーロ)	4Q05	4Q05/4Q04 EU-IFRS	4Q05/ 3Q05	2005	2005/2004 EU-IFRS
営業収益	637	+50.6%	+34.1%	2,015	+18.2%
営業費用および減価償却費	-361	+55.6%	+50.4%	-1,070	+20.4%
営業総利益	276	+44.5%	+17.4%	945	+15.8%
引当金	-138	+48.4%	+22.1%	-453	+2.3%
営業利益	138	+40.8%	+13.1%	492	+31.9%
関連会社損益	16	-48.4%	-50.0%	108	-9.2%
その他の営業外項目	7	n.s.	n.s.	30	n.s.
税引前利益	161	+24.8%	-8.5%	630	+26.5%
営業収支率	56.7%	+1.9 pt	+6.2 pt	53.1%	+1.0 pt
割当株主資本 (10 億ユーロ)				1.6	+7.1%
税引前 ROE				38%	+6 pt

比較可能ベースで：

前年同期比の営業収益は 14.8% 増、営業費用および減価償却費は同 15.7% 増、営業総利益は 13.6% 増、税引前利益は 25.6% 増
前年比の営業収益は 8.3% 増、営業費用および減価償却費は同 8.7% 増、営業総利益は 8.0% 増、税引前利益は 21.1% 増

- 第 4 四半期の営業収益：比較可能ベースで前年同期比 14.8% 増
- 税引前利益：同 24.8% 増の 1 億 6100 万ユーロ
- 新規ローンの好調な伸び：第 4 四半期の実行残は同 16% 増 (Laser-Confinoga を除く)
 - うち 55% がフランス国外の与信
- Laser-Confinoga：シナジー効果を確認、2009 年に向け税引前利益 6200 万ユーロを達成へ
- 取引開拓余地の大きい成長市場において引き続き事業拡大
 - アルジェリア、中国 (南京商業銀行(Nanjing City Commercial Bank)と提携関係を結ぶ)
 - ブラジル：2005 年度通期には取引高が約 5 倍に拡大

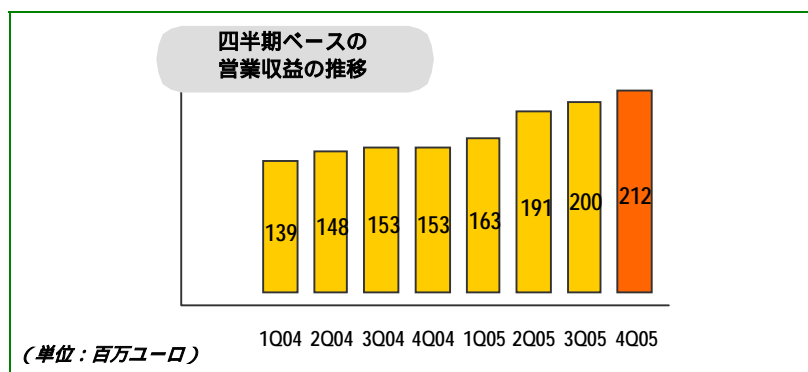


アルバル、BNP リース・グループ、UCB

- 営業収益：2004 年第 4 四半期比 11.9%増の 3 億 3000 万ユーロ
- 税引前利益：同 15.3%増の 9800 万ユーロ
- 実行残高：2004 年度 12 月末に比べ 22.3%増の 492 億ユーロ
- アルバル：ブラジル、トルコ、ロシア、ウクライナで拠点開

エマージング・マーケット

- 商業的展開に弾み
 - 営業収益：2004 年第 4 四半期比 38.6%増
 - 第 4 四半期には 27 拠点を新規開設
- 東欧におけるグループ事業を拡大
 - ウクライナ：UkrSibbank に対する 51%持ち分を取得（当局による承認待ち）
 - ロシア：有機的成長プランをスタート
- グループの他のビジネス・ラインとのシナジー効果を促進
 - 中東および湾岸地域で、海外プライベート・バンキング事業と合併事業を展開
- 税引前利益：第 4 四半期は前年同期比 1.7%増の 5900 万ユーロ、2005 年度通期は前年比 47.3%増の 2 億 6800 万ユーロ



専門的な金融サービス - 貸出総額

(単位：10 億ユーロ)	2005 年 12 月	2005 年 9 月	対前期比	2004 年 12 月	対前年同期比
セテレム (1)	47.4	34.5	+37.1%	32.2	+47.2%
フランス	26.8	19.4	+38.0%	19.2	+39.4%
海外	20.6	15.1	+36.0%	13.0	+58.6%
BNP パリバ・リース・グループ (中期)	15.1	15.0	+0.6%	14.8	+1.5%
フランス	10.8	10.8	+0.1%	11.1	-2.8%
欧州 (フランスを除く)	4.3	4.2	+2.0%	3.8	+13.8%
UCB (個人)(2)	28.0	26.4	+6.0%	20.2	+38.9%
フランス (個人)	15.4	14.9	+3.1%	11.2	+37.5%
欧州 (フランスを除く)	12.6	11.5	+9.8%	9.0	+40.8%
長期リース	6.1	6.0	+2.5%	5.2	+17.5%
フランス	2.0	2.0	+1.7%	1.7	+15.9%
欧州 (フランスを除く)	4.1	4.0	+2.9%	3.5	+18.4%
アルバル					
合計 (単位：千) フリート数	469	460	+1.9%	433	+8.3%
ファイナンス車輛を含む	607	591	+2.6%	602	+0.8%

(1) Laser-Confinoga の実行残 (2005 年 12 月 31 日現在 120 億ユーロ、うちフランス国内向けが 73 億ユーロ、国外が 47 億ユーロ) を含む。

(2) アピーナショナル・フランスの 2005 年 3 月 31 日以降の実行残 (27 億ユーロ) を含む。

海外リテール・バンキング事業：3つの潜在成長力の高い地域



2006 年度の IFRS 事業 - プライオリティと経営課題

- **エマージング・マーケット：東欧および地中海地域における事業拡大をより強化**
 - 拠点開設
 - グループのプロダクト・プラットフォームとのシナジー効果を追及
- **バンクウェスト：引き続き成長**
 - ネットワーク・カバレッジの拡充
 - プロダクト・ラインナップの充実化
- **セテレム：新たな成長分野を開拓**
 - パートナーシップ契約：フランスの大手ガラス・素材メーカー、サンゴバンとの提携
 - 有望市場へ進出：ロシア、中国、ウクライナ

有機的成長と買収による成長を併せた意欲的戦略を展開

資産運用、保険および証券管理事業

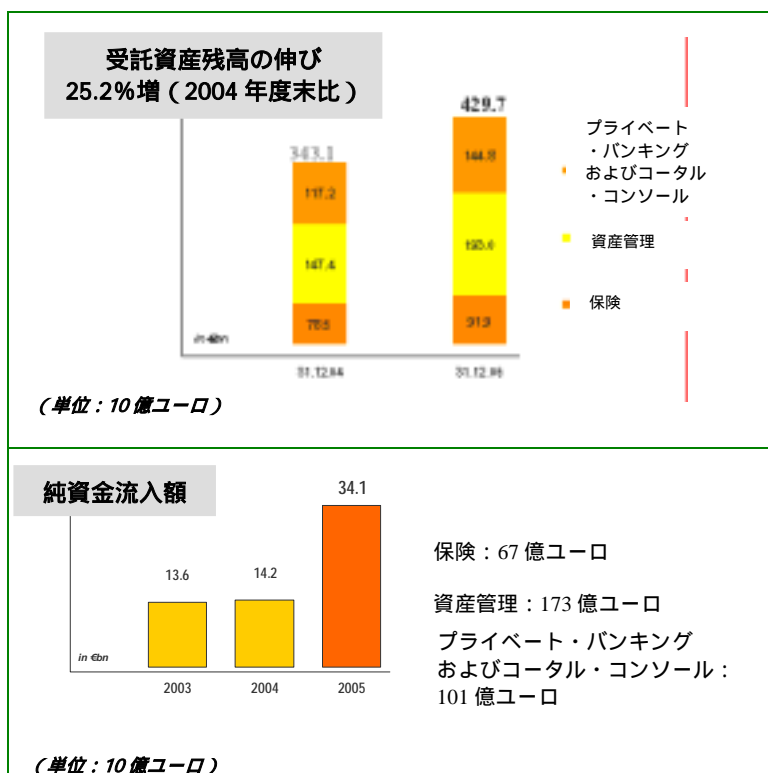
■ すべての業務部門で好調な収益の伸び：2005 年度通期営業収益は前年比 16.7% 増の 36 億ユーロ

(単位：百万ユーロ)	4Q05	4Q05/4Q04 EU-IFRS	4Q05/ 3Q05	2005	2005/2004 EU-IFRS
営業収益	987	+21.1%	+13.4%	3,552	+16.7%
営業費用および減価償却費	-657	+19.5%	+12.9%	-2,331	+17.1%
営業総利益	330	+24.5%	+14.6%	1,221	+15.8%
引当金	0	n.s.	n.s.	-8	n.s.
営業利益	330	+25.5%	+15.0%	1,213	+15.6%
関連会社損益	1	-50.0%	n.s.	1	-66.7%
その他の営業外項目	0	n.s.	n.s.	52	n.s.
税引前利益	331	+23.0%	+16.1%	1,266	+19.5%
営業収支率	66.6%	+0.9 pt	-0.3 pt	65.6%	+0.2 pt
割当株主資本 (10 億ユーロ)				3.8	+16.6%
税引き前 ROE				33%	+1 pt

■ 大幅な増収

- 力強い有機的成長
- 外的成長による追加的な収益貢献
- 堅調な相場展開も追い風に

■ 税引前利益：前年同期比 23.0% 増



受託資産残高の伸び：2004 年度末に比べ
25.2% 増

新規資金流入額 (純額)：341 億ユーロ

連結範囲の変更および運用パフォーマンス、
為替変動による影響および
その他：525 億ユーロ

全てのビジネス・ラインで非常に
高水準の純資産流入額

2005 年度通期：純資金流入額は 341 億ユーロ
(受託資産総額を 9.9% 増加させる)

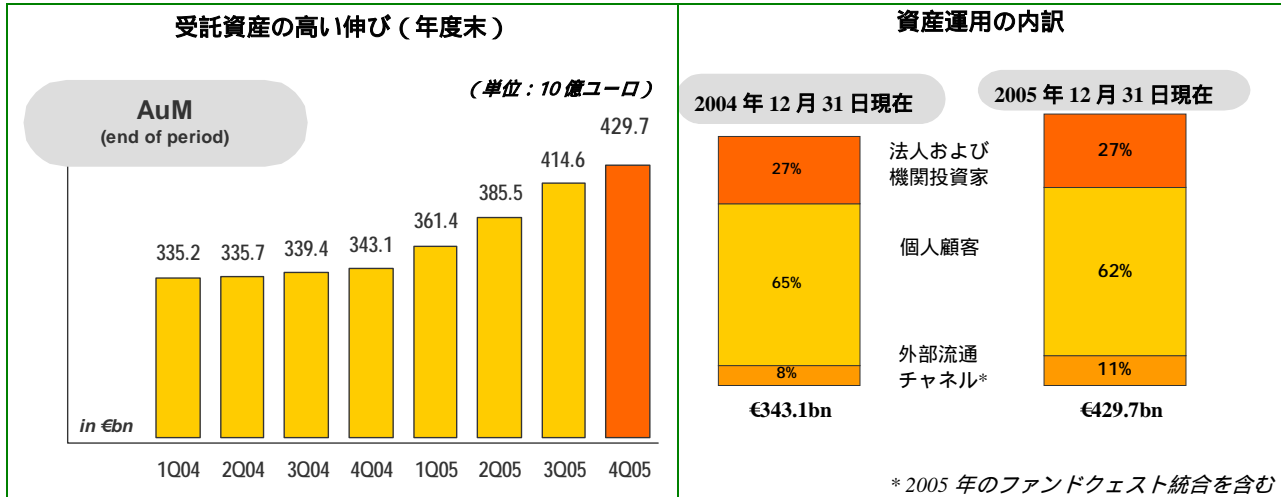
第 4 四半期：82 億ユーロ
(前年同期の 14 億ユーロより急拡大)

AMS ビジネスライン間のクロスセリングを除いた場合：

受託資産総額：2005 年 12 月 31 日現在で 3642 億ユーロと、2004 年 12 月 31 日現在の 2921 億ユーロより 25.0% の増加

純資金流入額：第 4 四半期は 78 億ユーロ、前年同期の 12 億ユーロに比べ大幅増

純資金流入額：2005 年度は 302 億ユーロ、2004 年度は 116 億ユーロ)



資産管理

■ 資産管理 = プライベート・バンキング + 資産運用 + コータル・コンソール + 不動産サービス

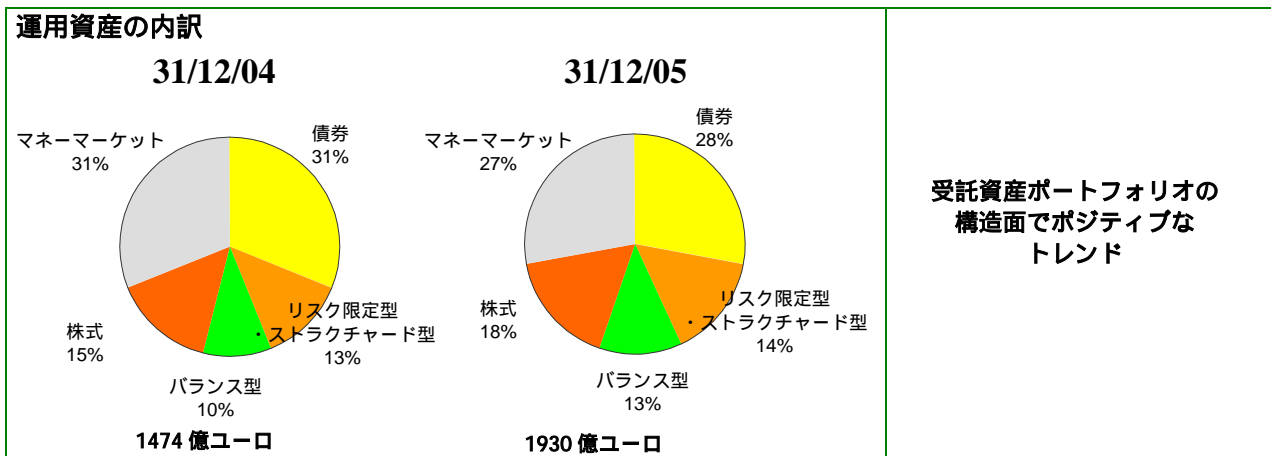
(単位：百万ユーロ)	4Q05	4Q05/4Q04 EU-IFRS	4Q05/ 3Q05	2005	2005/2004 EU-IFRS
営業収益	506	+18.5%	+11.7%	1,810	+15.4%
営業費用および減価償却費	-363	+14.9%	+15.6%	-1,270	+14.5%
営業総利益	143	+28.8%	+2.9%	540	+17.6%
引当金	0	n.s.	n.s.	0	n.s.
営業利益	143	+31.2%	+2.9%	540	+18.2%
関連会社損益	1	-50.0%	n.s.	1	-66.7%
その他の営業外項目	-1	n.s.	n.s.	0	n.s.
税引前利益	143	+24.3%	+3.6%	541	+15.8%
営業収支率	71.7%	-2.3 pt	+2.4 pt	70.2%	-0.5 pt
割当株主資本（10 億ユーロ）				1.1	+10.4%

■ 2005 年度第 4 四半期の好調な事業展開

- 資産運用：純資金流入額は受託資産総額の 11.1% に相当（年率ベース）
- コータル・コンソールの株式市場取引：前年同期比 24% の増収
- 法人向け不動産関連サービス：前年同期比 29% の増収

■ 税引前利益：前年同期比 24.3% 増の 1 億 4300 万ユーロ

■ プライベート・バンキングはフランス国内で第 1 位、欧州第 3 位、アジアで第 7 位、中南米市場で第 7 位（2006 年 1 月号のユーロマネー誌ランキング）



保険

(単位：百万ユーロ)	4Q05	4Q05/4Q04 EU-IFRS	4Q05/ 3Q05	2005	2005/2004 EU-IFRS
営業収益	293	+21.6%	+23.6%	1,017	+17.3%
営業費用および減価償却費	-135	+20.5%	+11.6%	-481	+21.2%
営業総利益	158	+22.5%	+36.2%	536	+14.0%
引当金	0	n.s.	n.s.	-8	n.s.
営業利益	158	+22.5%	+37.4%	528	+13.1%
関連会社損益	0	n.s.	n.s.	0	n.s.
その他の営業外項目	1	n.s.	n.s.	52	n.s.
税引前利益	159	+23.3%	+39.5%	580	+24.2%
営業収支率	46.1%	-0.4 pt	-5.0 pt	47.3%	+1.5 pt
割当株主資本 (10 億ユーロ)				2.3	+13.8%

■ 商業的展開に弾み

- フランス：個人の貯蓄商品の流入総額：2005 年度通期で 82 億ユーロ
ユニット・リンク型保険資産の流入額は全体の 33.1% を占める（市場平均は 22.5%）
- フランス国外：個人の貯蓄商品の流入総額：2005 年度通期で 35 億ユーロ（前年比 19% 増）

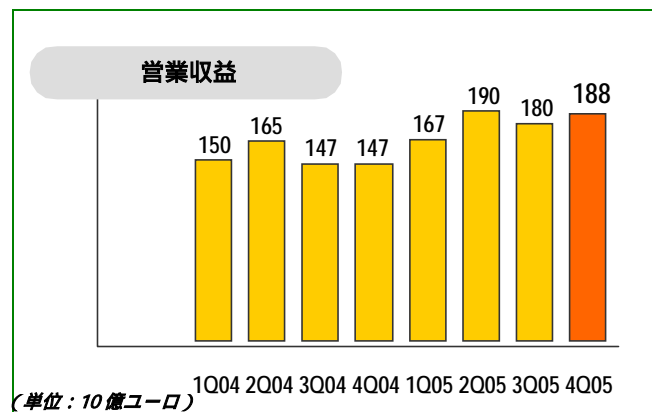
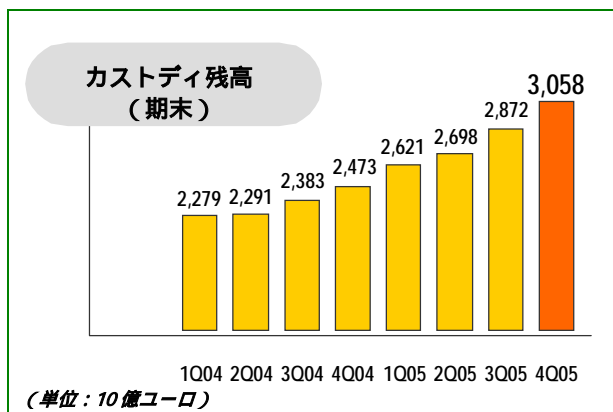
証券管理

(単位：百万ユーロ)	4Q05	4Q05/4Q04 EU-IFRS	4Q05/ 3Q05	2005	2005/2004 EU-IFRS
営業収益	188	+27.9%	+4.4%	725	+19.0%
営業費用および減価償却費	-159	+30.3%	+8.2%	-580	+19.8%
営業総利益	29	+16.0%	-12.1%	145	+16.0%
引当金	0	n.s.	n.s.	0	n.s.
営業利益	29	+16.0%	-12.1%	145	+16.0%
関連会社損益	0	n.s.	n.s.	0	n.s.
その他の営業外項目	0	n.s.	n.s.	0	n.s.
税引前利益	29	+16.0%	-12.1%	145	+16.0%
営業収支率	84.6%	+1.6 pt	+2.9 pt	80.0%	+0.5 pt
割当株主資本 (10 億ユーロ)				0.5	+55.4%

■ 引き続き事業拡大

- 保護預り（カストディ）資産残高：2004 年度末の水準に比べ 24% 増
- 取引件数：同 16% 増
- 管理資産：2005 年 12 月 31 日現在、5200 億ユーロ（2004 年 12 月 31 日現在は 2990 億ユーロ）

- BNPパリバ・セキュリティーズサービス（BP2S）はファンズ・ヨーロッパ誌（2005 年 11 月号）によりフ
ァンド・アドミニストレーター・オブ・ザ・イヤー（年間最優秀資産管理保険会社）に選出される



2006 年度の AMS 事業 - プライオリティと経営課題

■ 収益成長の原動力をフルに活かす

■ 革新的アプローチと有望商品を大いに活かす

- オープン・アーキテクチャー、オルタナティブおよびストラクチャード運用商品、不動産関連ファンドなど

■ 欧州市場における事業拡大をさらに増強

- ファンドクエストとのマルチマネジメント・ファンド・サービスを展開
- 不動産関連サービスを拡大
- ドイツにおけるコータル・コンソールの成長ペースを加速化
- 証券管理サービスの持続的な有機的成長を図る

■ 国際的展開もペースアップ

- 中東：プライベート・バンキング IFRS による共同事業
- アジアおよび中南米：市場開拓のペースを加速化

力強い、革新的かつ高成長のプラットフォームを築く

コーポレート・バンキングおよび投資銀行事業

(単位：百万ユーロ)	4Q05	4Q05/4Q04 EU-IFRS	4Q05/ 3Q05	2005	2005/2004 EU-IFRS
営業収益	1,600	+16.9%	-5.2%	6,422	+16.3%
営業費用および減価償却費	-926	+6.8%	-4.3%	-3,711	+10.4%
営業総利益	674	+34.3%	-6.4%	2,711	+25.4%
引当金	-16	-38.5%	n.s.	130	n.s.
営業利益	658	+38.2%	-14.4%	2,841	+36.4%
関連会社損益	1	n.s.	n.s.	3	n.s.
その他の営業外項目	12	-25.0%	n.s.	46	-20.7%
税引前利益	671	+36.7%	-12.2%	2,890	+35.3%
営業収支率	57.9%	-5.4 pt	+0.6 pt	57.8%	-3.1 pt
割当株主資本 (10 億ユーロ)				9.1	+21.6%
税引き前 ROE				32%	+3 pt

ファイナンス業務

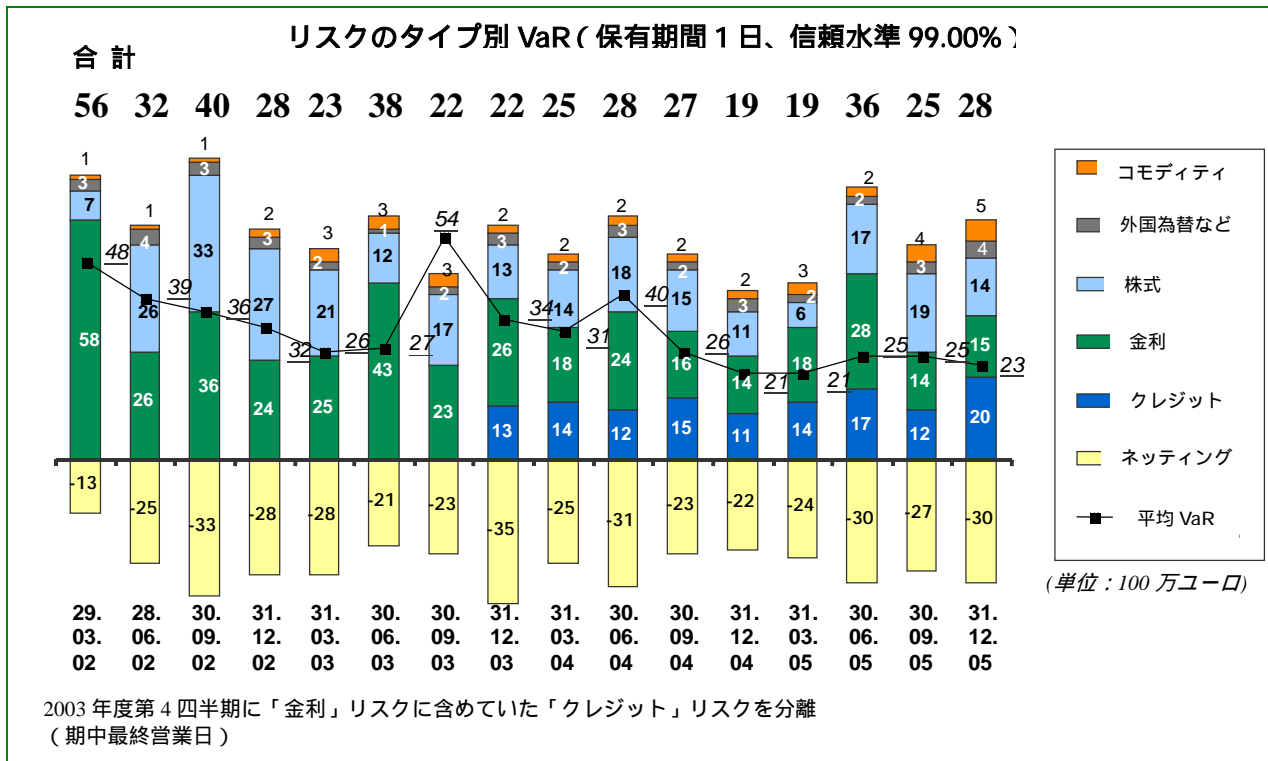
(単位：百万ユーロ)	4Q05	4Q05/4Q04 EU-IFRS	4Q05/ 3Q05	2005	2005/2004 EU-IFRS
営業収益	678	+14.7%	+0.7%	2,700	+18.9%
営業費用および減価償却費	-308	+6.9%	+7.7%	-1,134	+11.2%
営業総利益	370	+22.1%	-4.4%	1,566	+25.2%
引当金	-15	-31.8%	n.s.	131	n.s.
営業利益	355	+26.3%	-18.6%	1,697	+43.6%
その他の営業外項目	4	-20.0%	-20.0%	23	+4.5%
税引前利益	359	+25.5%	-18.6%	1,720	+42.9%
営業収支率	45.4%	-3.3 pt	+2.9 pt	42.0%	-2.9 pt
割当株主資本 (10 億ユーロ)				6.0	+28.4%

- 取引高および収益ともに非常に高水準を維持
- リスク費用：なお非常に限定的

アドバイザーおよびキャピタル・マーケット

(単位：百万ユーロ)	4Q05	4Q05/4Q04 EU-IFRS	4Q05/ 3Q05	2005	2005/2004 EU-IFRS
営業収益	922	+18.5%	-9.2%	3,722	+14.5%
営業費用および減価償却費	-618	+6.7%	-9.4%	-2,577	+10.1%
営業総利益	304	+52.8%	-8.7%	1,145	+25.7%
引当金	-1	n.s.	n.s.	-1	n.s.
営業利益	303	+55.4%	-9.0%	1,144	+27.0%
関連会社損益	1	n.s.	n.s.	3	n.s.
その他の営業外項目	8	-27.3%	n.s.	23	-36.1%
税引前利益	312	+52.2%	-3.4%	1,170	+25.5%
営業収支率	67.0%	-7.4 pt	-0.2 pt	69.2%	-2.8 pt
割当株主資本 (10 億ユーロ)				3.0	+9.9%

- エクイティ・デリバティブ：取引高および収益ともに 2004 年第 4 四半期実績を大幅に上回る
- フィクスト・インカム：減収とはなるが、対顧客取引の手数料収入に伸び



欧州市場のリーダー

フィクスト・インカム
ユーロ建て債のブックランナー実績で第 3 位⁽¹⁾

ストラクチャード・ファイナンス
レバレッジド・ローンのブックランナー実績で第 5 位⁽¹⁾

エクイティ
Exane BNP パリバ、フランス国内のベスト・ブローカレッジ・ファーム (経済専門誌 Agefi)

コーポレート・ファイナンス
M&A で第 10 位⁽¹⁾⁽²⁾

4 つのグローバルなフランチャイズ

ストラクチャード・ファイナンス
シンジケート・ローンのブックランナー実績で第 5 位⁽¹⁾

エネルギー/コモディティ
ベスト・コモディティ・バンク
(トレード・ファイナンス・マガジン)

プロジェクト・ファイナンス
ベスト・プロジェクト・ファイナンス・ハウス
(ユーロマネー誌)

デリバティブ
各種マーケット・セグメントで最大手の位置付け

(1) トムソン・ファイナンシャル (2) 公表済みの取引

有効なビジネス・モデル

2005 年通期の営業収益

ファイナンス・ビジネス 42%

フィクスト・インカム 33%

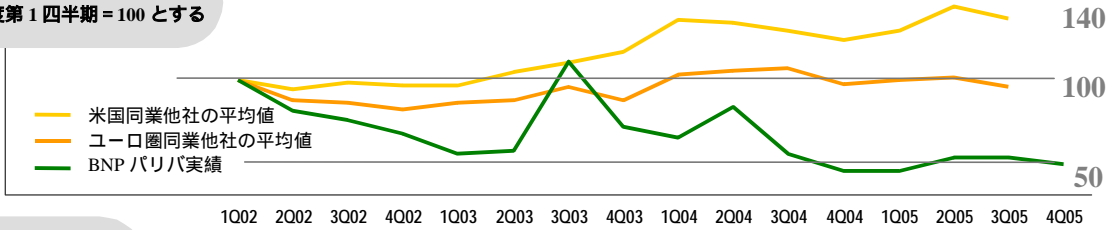
エクイティおよびアドバイザー 25%

総合的なグローバル・ネットワーク

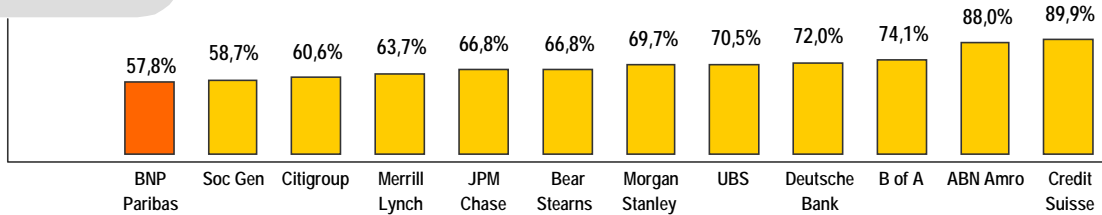
- 世界 52 개국における店舗・拠点網
- 特に欧州市場で最大手のプレーヤー
- 米国および日本でも非常に有力なプレゼンス、グローバル・フランチャイズにクリティカル・マスを提供
- 潜在成長力の大きい中国本土やブラジル、ロシア等でも確固たる足がかりを築いている

強力なプラットフォーム
非常にバランスのとれたビジネス・ミックス

四半期ベース VaR の推移*
2002 年度第 1 四半期 = 100 とする



営業収支比率の比較**



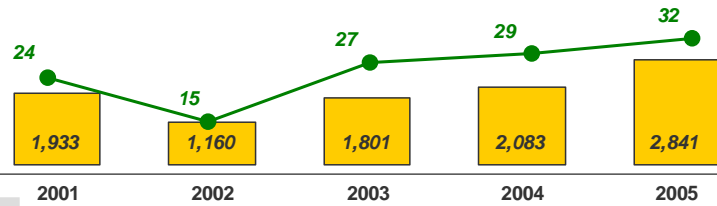
当社のバリュー・アット・リスク（絶対的ベース）は業界最低水準に属し、
しかも 2002 年以降、低下のトレンドをたどっている
営業収支率も最も良好な水準にある

*保有期間を 1 日、信頼水準を 99.00% として計算：米国同業他社は JPMC、ゴールドマン・サックス、シティグループ、リーマン・ブラザーズ、ベア・スターンズ、欧州同業他社はドイチェバンク、SG、UBS、GSG

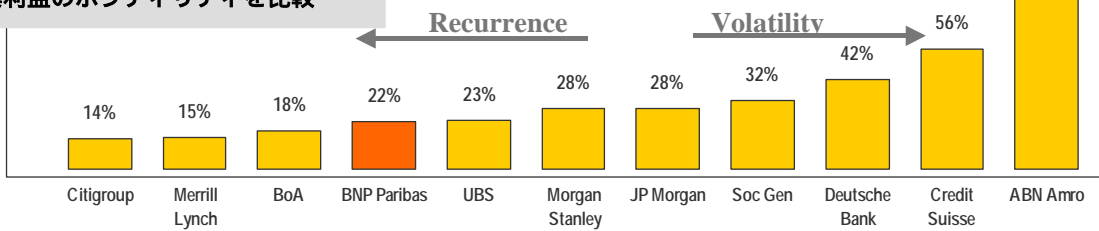
** 営業収支率は当社 CIB 事業と同様の連結対象と、過去 4 四半期に公表された各社データに基づき算出

**税引前 ROE*
営業利益*の推移**

(単位：%、100 万ユーロ)



**企業金融を展開する同業他社の
四半期ベース
営業利益のボラティリティを比較****



景気サイクルを通じた平均値：BNPP は高収益を達成しつつ、収益のボラティリティは低い

* 2001 年 ~ 2003 年度の数字はフランス国内会計基準による；2004 年度および 2005 年度の数字は EU IFRS 会計基準による

** BNP パリバの試算値：ヒストリカルな四半期営業利益の時系列データおよび当社 CIB と同様の事業範囲に基づく、標準偏差/平均値 (2003 年度 ~ 2005 年度第 3 四半期の公表データ)

2006 年度の CIB 事業 - プライオリティと経営課題

■ マーケット関連の事業・案件開拓をより強化

- デリバティブへの投資を引き続き拡大
- 専門的ファイナンス業務（コモディティ、メディア・テレコム、航空機ファイナンス等）の顧客とのクロスセリングを拡大

■ 優先的市場における位置付けを強化

- 欧州における成長機会を活用、特に中型株に属す有力企業との取引深耕
- 米国ですでに着手している選別的成長機会に、引き続き重点的に取り組む
- アジア太平洋地域を実質的なコア・マーケットに育てる

■ 割当資本の効率性を向上させる

引き続きフランチャイズと競争力強化を図る

BNP パリバ・キャピタル

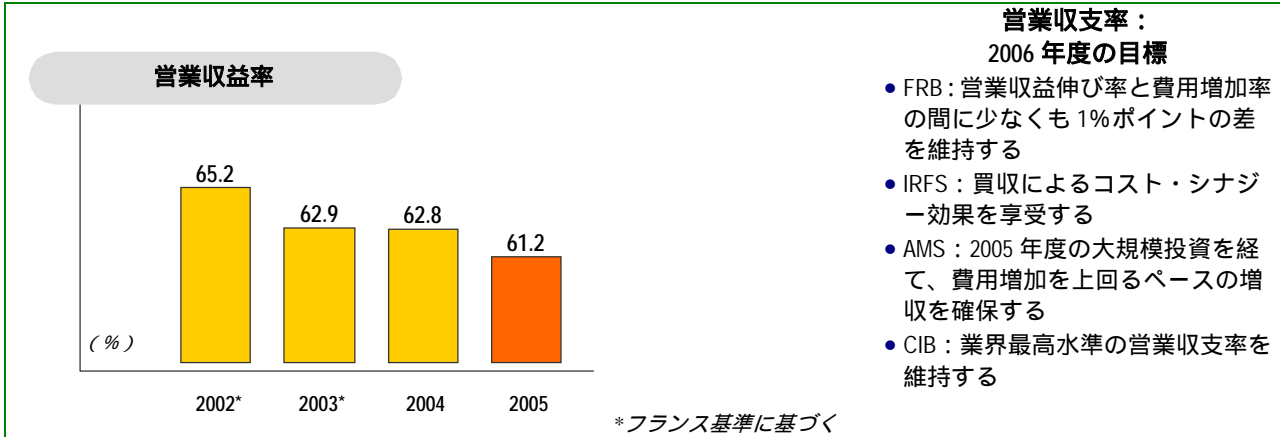
(単位：百万ユーロ)	4Q05	4Q04EU-IFRS	3Q05	2005	2004 EU-IFRS
営業収益	-39	24	42	384	-7.9%
営業費用および減価償却費	-7	-7	-5	-23	-23.3%
営業総利益	-46	17	37	361	-6.7%
引当金	-1	-2	-1	-3	n.s.
営業利益	-47	15	36	358	-7.5%
関連会社損益	76	40	30	127	-33.2%
その他項目	0	1	1	59	-28.0%
税引前利益	29	56	67	544	-17.5%
割当株主資本 (10 億ユーロ)				1.1	7.6%

- ポートフォリオ概算評価額 (2005 年度 12 月期末)
 - 44 億ユーロ (1 月 1 日時点の 38 億ユーロから増加)
- 未実現キャピタルゲイン (2005 年度 12 月期末)
 - 16 億ユーロ (1 月 1 日時点の 13 億ユーロから増加)

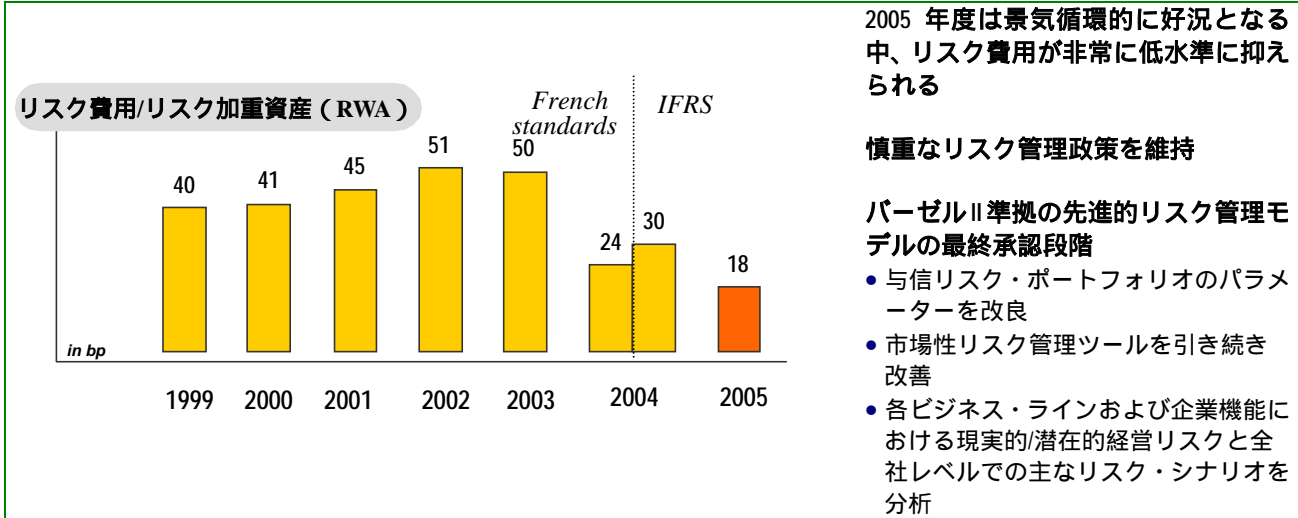
BNP パリバ・グループ

今後の見通し

引き続き経営効率を向上させる



慎重なリスク管理を続行



グループの潜在成長力をフルに活用

- 有機的成長：全てのコア・ビジネスにとって優先課題
- 最近の買収案件：収益成長を加速させる要因
 - 2005 年度には総額 20 億ユーロの 15 の買収案件が公表された
 - 連結対象に含めた欧州および米国の買収先：Laser-Confinoga、Commercial Federal
 - オープン・アーキテクチャーにおけるリーダー誕生：ファンドクエスト
 - 急成長の市場にも進出：UkrSibbank（ウクライナ）、中国南京商業銀行（NCCB）

的を絞った買収戦略を追求

- 厳格な財務基準
 - 短期的な収益倍加の効果
 - 投下資本利益率 > 資本コスト
- 執行リスクが限定的
- 地域のおよび経営面のプライオリティを維持
 - ビジネス・ライン：優先順位に沿ってリテール・バンキングのフランチャイズを強化、その他事業分野においても追加的買収
 - 地域：欧州および米国、選別的には新興市場

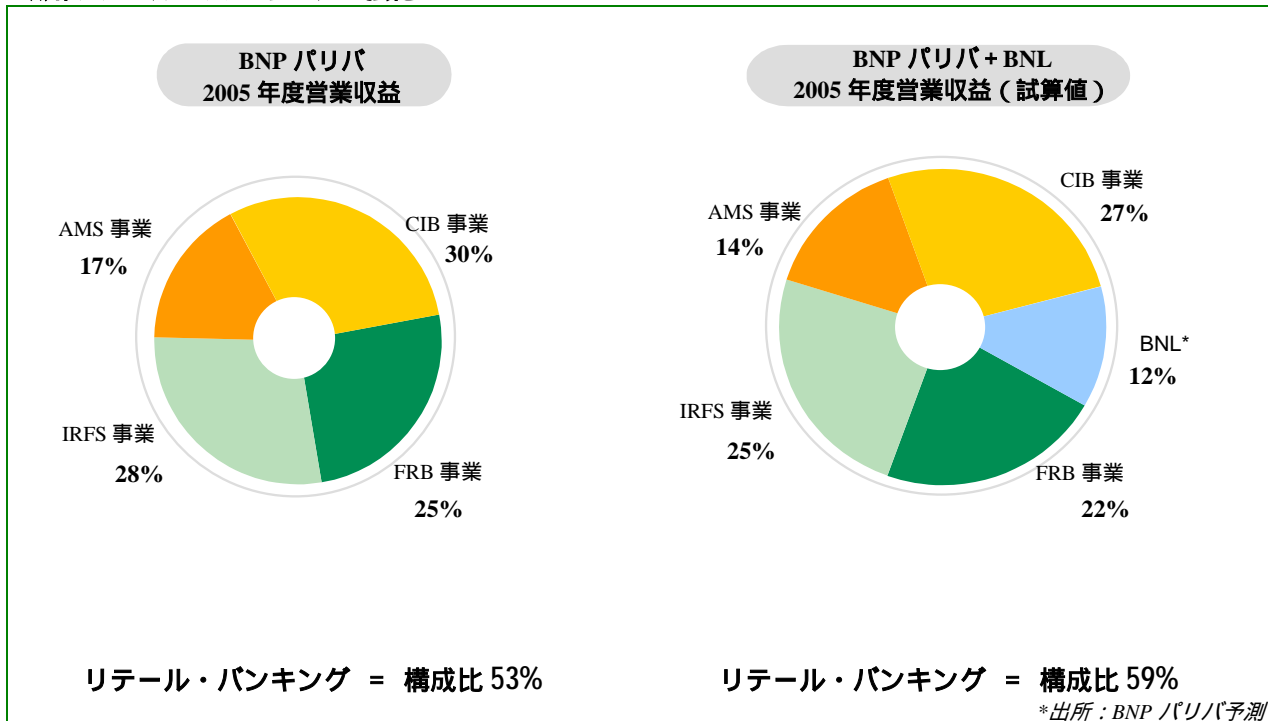
イタリア大手銀 BNL の買収計画

(イタリア中銀および保険業監督当局 ISVAP、その他公正取引委員会による承認を条件とする)

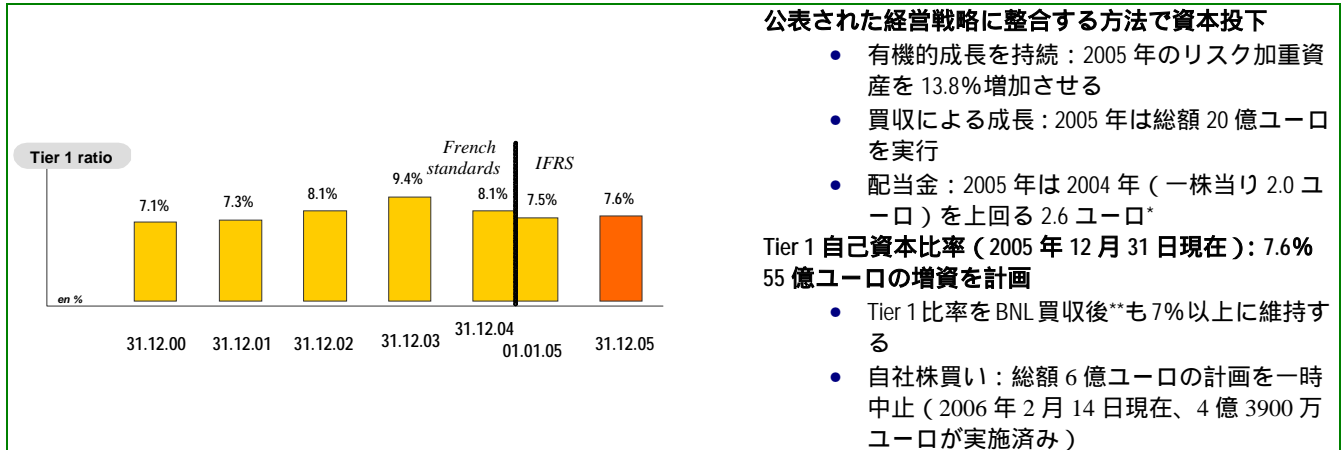
イタリア：BNP パリバにとって欧州における新たなホーム・マーケット

- イタリア：魅力的な銀行市場
 - 大きな潜在成長力
 - BNL：クリティカル・マス、イタリア全土にわたる店舗網、知名度の高いブランド力
 - イタリアにおける BNP パリバ：強力なプレゼンスと市場ノウハウ
- BNL：多大な成長余地を有する
 - 現在進行中の合理化プロセスを続行
 - 合併によるシナジー効果とベスト・プラクティスの交換
 - 収益の伸び：BNL の顧客に BNP パリバのプロダクト・ラインナップを提供
- BNP パリバと BNL の合併：執行リスクが限定的
 - 友好的買収オファーであり、BNL 経営陣からはポジティブな反応
 - 経営統合を成功に導く BNPP の実績
 - 過去の成功例に基づく経営モデルをイタリアで開始

欧州リテール・バンキングを強化



資本管理を最適化



*株主総会における承認を条件とする。 ** イタリア中銀、ISVAP、その他当局承認を条件とする

強力な財務構成

10 億ユーロ	2005 年 12 月 31 日	2005 年 1 月 1 日
再評価前株主資本 (グループ帰属)(a)	30.7	27.1
評価性引当金	5.5	3.6
総合ベース自己資本比率	11.0%	10.1%
Tier I レシオ (b)	7.6%	7.5%

(a) 永久劣後債を除く
(b) 2005 年 12 月 31 日現在のリスクウェイト資産 (概算で 3777 億ユーロ) に基づく

格付け

S&P	AA	安定的	2006 年 2 月 6 日付で AA に据え置き
ムーディーズ	Aa2	安定的	2006 年 2 月 7 日付で Aa2 に据え置き
フィッチ	AA	安定的	2006 年 2 月 3 日付で AA に据え置き

発行済み株式数

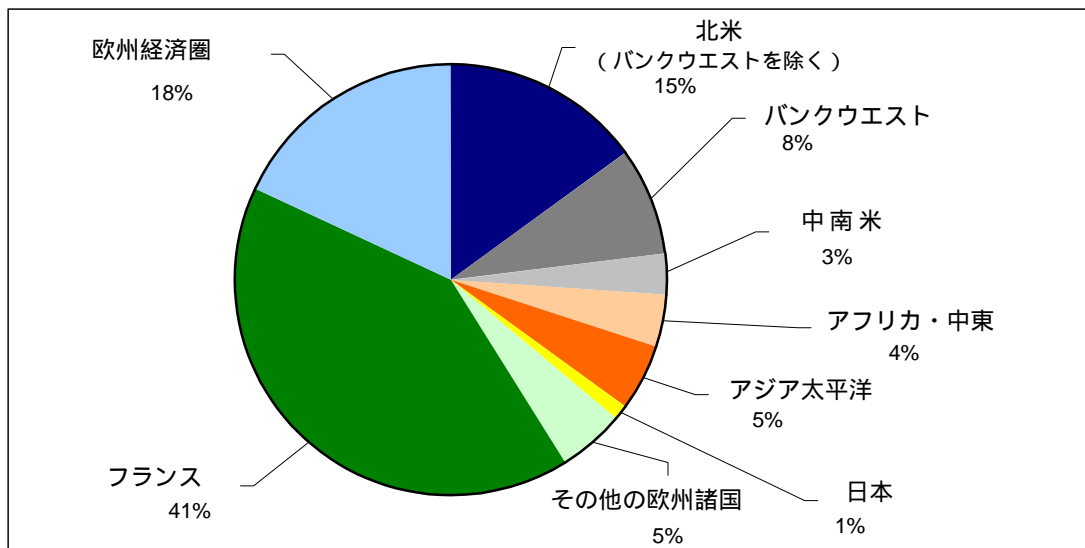
(単位: 100 万)	2005	2004
株式総数 (期末)	838.2	884.7
株式総数 (自己株式を除く / 期末)	829.2	829.6*
平均発行済株式総数 (自己株式を除く)	829.5	840.9*

*EU-IFRS シミュレーション

一株当り純資産	2005 年		2005 年
	(単位: ユーロ)		1 月 1 日
	12 月 31 日		
一株当り純資産	46.2		39.0
うち再評価前の株主資本	39.6		34.7
	2005		2004*
	(単位: ユーロ)		
EPS	7.02		5.56
(平均発行済株式総数に基づく)	6.97		5.54
	*EU-IFRS によるシミュレーション		

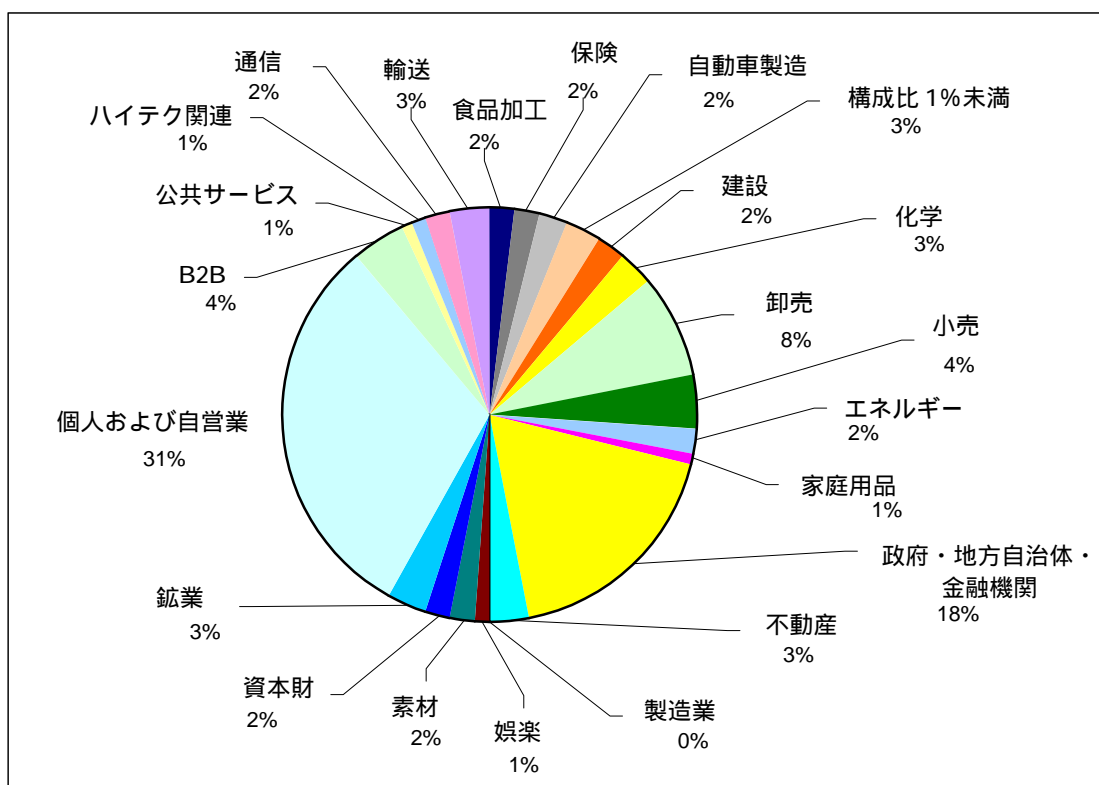
地域別取引の内訳

総貸付 + オフバランスシートの取引（非加重） = 2005 年 12 月 31 日現在で 5790 億ユーロ



業界別取引の内訳

総貸付 + オフバランスシートの取引（非加重） = 2005 年 12 月 31 日現在で 5790 億ユーロ



2004 年度第 4 四半期 (IFRS 基準) と比較した 2005 年度第 4 四半期 (IFRS-EU 基準)、ならびに 2004 年度の業績 (IFRS2004 基準) と比較した 2005 年度の業績 (IFRS-EU 基準)

グループ連結決算

(単位：百万ユーロ)	4Q05	4Q04 IFRS 2004	4Q05/4Q04 IFRS 2004	2005	2004 IFRS 2004	2005/2004 IFRS 2004
営業収益	5,622	4,855	+15.8%	21,854	19,369	+12.8%
営業費用および減価償却費	-3,669	-3,213	+14.2%	-13,369	-12,043	+11.0%
営業総利益	1,953	1,642	+18.9%	8,485	7,326	+15.8%
引当金	-293	-104	+181.7%	-610	-685	-10.9%
営業利益	1,660	1,538	+7.9%	7,875	6,641	+18.6%
関連会社損益	92	94	-2.1%	352	407	-13.5%
その他の営業外項目	72	12	n.s.	197	71	n.s.
営業外損益	164	106	+54.7%	549	478	+14.9%
税引前利益	1,824	1,644	+10.9%	8,424	7,119	+18.3%
法人税	-358	-372	-3.8%	-2,138	-1,764	+21.2%
少数株主持分	-131	-112	+17.0%	-434	-416	+4.3%
グループ帰属純利益	1,335	1,160	+15.1%	5,852	4,939	+18.5%
営業収支率	65.3%	66.2%	-0.9 pt	61.2%	62.2%	-1.0 pt
税引後 ROE 年率				20.0%	17.7%	+2.5 pt

リテール・バンキング事業

(単位：百万ユーロ)	4Q05	4Q04 IFRS 2004	4Q05/4Q04 IFRS 2004	2005	2004 IFRS 2004	2005/2004 IFRS 2004
営業収益	3,045	2,535	+20.1%	11,250	9,961	+12.9%
営業費用および減価償却費	-1,979	-1,644	+20.4%	-6,990	-6,321	+10.6%
営業総利益	1,066	891	+19.6%	4,260	3,640	+17.0%
引当金	-251	-136	+84.6%	-754	-667	+13.0%
営業利益	815	755	+7.9%	3,506	2,973	+17.9%
関連会社損益	16	32	-50.0%	112	123	-8.9%
その他の営業外損益	11	3	n.s.	39	16	n.s.
税引前利益	842	790	+6.6%	3,567	3,112	+17.5%
営業収支率	65.0%	64.9%	+0.1 pt	62.1%	63.5%	-1.4 pt
割当株主資本 (10 億ユーロ)				11.0	9.8	+11.7%
税引後 ROE				33%	32%	+1 pt

フランス国内リテール・バンキング

(フランス国内プライベートバンキング収益の 3 分の 2 を含む)

(単位：百万ユーロ)	4Q05	4Q04 IFRS 2004	4Q05/4Q04 IFRS 2004	2005	2004 IFRS 2004	2005/2004 IFRS 2004
営業収益	1,341	1,246	+7.6%	5,270	4,945	+6.6%
営業費用および減価償却費	-946	-876	+8.0%	-3,605	-3,454	+4.4%
営業総利益	395	370	+6.8%	1,665	1,491	+11.7%
引当金	-68	-60	+13.3%	-195	-222	-12.2%
営業利益	327	310	+5.5%	1,470	1,269	+15.8%
関連会社損益	0	0	n.s.	0	0	n.s.
その他の営業外項目	0	0	n.s.	0	0	n.s.
税引前利益	327	310	+5.5%	1,470	1,269	+15.8%
営業収支率	70.5%	70.3%	+0.2 pt	68.4%	69.8%	-1.4 pt
割当株主資本 (10 億ユーロ)				5.1	4.7	+9.1%
税引後 ROE				29%	27%	+2 pt

海外リテール・バンキングおよび金融サービス

(単位：百万ユーロ)	4Q05	4Q04	4Q05/4Q04	2005	2004	2005/2004
		IFRS 2004	IFRS 2004		IFRS 2004	IFRS 2004
営業収益	1,704	1289	+32.2%	5,980	5,016	+19.2%
営業費用および減価償却費	-1,033	-768	+34.5%	-3,385	-2,867	+18.1%
営業総利益	671	521	+28.8%	2,595	2,149	+20.8%
引当金	-183	-76	+140.8%	-559	-445	+25.6%
営業利益	488	445	+9.7%	2,036	1,704	+19.5%
関連会社損益	16	32	-50.0%	112	123	-8.9%
その他の営業外項目	11	3	n.s.	39	16	n.s.
税引前利益	515	480	+7.3%	2,187	1,843	+18.7
営業収支率	60.6%	59.6%	+1.0 pt	56.6%	57.2%	-0.6 pt
割当株主資本 (10 億ユーロ)				5.8	5.1	+14.2%
税引後 ROE				37%	36%	+1 pt

バンクウェスト

(単位：百万ユーロ)	4Q05	4Q04	4Q05/4Q04	2005	2004	2005/2004
		IFRS 2004	IFRS 2004		IFRS 2004	IFRS 2004
営業収益	525	411	+27.7	1,877	1,558	+20.5%
営業費用および減価償却費	-293	-227	+29.1	-937	-768	+22.0%
営業総利益	232	184	+26.1	940	790	+19.0%
引当金	-8	-6	+33.3	-32	-39	-17.9%
営業利益	224	178	+25.8	908	751	+20.9%
関連会社損益	0	0	n.s.	0	0	n.s.
その他の営業外項目	0	0	n.s.	0	0	n.s.
税引前利益	224	178	+25.8	908	751	+20.9%
営業収支率	55.8%	55.2%	+0.6 pt	49.9%	49.3%	+0.6 pt
割当株主資本 (10 億ユーロ)				2.0	1.6	+23.4%
税引後 ROE				46%	47%	-1 pt

セテレム

(単位：百万ユーロ)	4Q05	4Q04	4Q05/4Q04	2005	2004	2005/2004
		IFRS 2004	IFRS 2004		IFRS 2004	IFRS 2004
営業収益	637	417	52.8%	2,015	1,679	+20.0%
営業費用および減価償却費	-361	-232	+55.6%	-1,070	-889	+20.4%
営業総利益	276	185	+49.2%	945	790	+19.6%
引当金	-138	-81	+70.4%	-453	-387	+17.1%
営業利益	138	104	+32.7%	492	403	+22.1%
関連会社損益	16	31	-48.4%	108	120	-10.0%
その他の営業外項目	7	0	n.s.	30	6	n.s.
税引前利益	161	135	+19.3%	630	529	+19.1%
営業収支率	56.7%	55.6%	+1.1 pt	53.1%	52.9%	+0.2 pt
割当株主資本 (10 億ユーロ)				1.6	1.5	+7.1%
税引後 ROE				38%	35%	+3 pt

資産運用、保険および証券管理事業

(単位：百万ユーロ)	4Q05	4Q04 IFRS 2004	4Q05/4Q04 IFRS 2004	2005	2004 IFRS 2004	2005/2004 IFRS 2004
営業収益	987	821	+20.2%	3,552	3,032	+17.2%
営業費用および減価償却費	-657	-547	+20.1%	-2,331	-1,975	+18.0%
営業総利益	330	274	+20.4%	1,221	1,057	+15.5%
引当金	0	-2	n.s.	-8	-6	n.s.
営業利益	330	272	+21.3%	1,213	1,051	+15.4%
関連会社損益	1	3	-66.7%	1	4	n.s.
その他の営業外項目	0	4	n.s.	52	7	n.s.
税引前利益	331	279	+18.6%	1,266	1,062	+19.2%
営業収支率	66.6%	66.6%	+0.0 pt	65.6%	65.1%	+0.5 pt
割当株主資本 (10 億ユーロ)				3.8	3.3	+16.6%
税引後 ROE				33%	32%	+1 pt

富裕層向け資産運用業務 (WAM)

(単位：百万ユーロ)	4Q05	4Q04 IFRS 2004	4Q05/4Q04 IFRS 2004	2005	2004 IFRS 2004	2005/2004 IFRS 2004
営業収益	506	439	+15.3%	1,810	1,565	+15.7%
営業費用および減価償却費	-363	-314	+15.6%	-1,270	-1,096	+15.9%
営業総利益	143	125	+14.4%	540	469	+15.1%
引当金	0	-2	n.s.	0	-2	n.s.
営業利益	143	123	+16.3%	540	467	+15.6%
関連会社損益	1	3	-66.7%	1	4	-75.0%
その他の営業外項目	-1	4	n.s.	0	7	n.s.
税引前利益	143	130	+10.0%	541	478	+13.2%
営業収支率	71.7%	71.5%	+0.2 pt	70.2%	70.0%	+0.2 pt
割当株主資本 (10 億ユーロ)				1.1	1.0	+10.4%

保険

(単位：百万ユーロ)	4Q05	4Q04 IFRS 2004	4Q05/4Q04 IFRS 2004	2005	2004 IFRS 2004	2005/2004 IFRS 2004
営業収益	293	235	+24.7%	1,017	858	+18.5%
営業費用および減価償却費	-135	-111	+21.6%	-481	-396	+21.5%
営業総利益	158	124	+27.4%	536	462	+16.0%
引当金	0	0	n.s.	-8	-4	n.s.
営業利益	158	124	+27.4%	528	458	+15.3%
関連会社損益	0	0	n.s.	0	0	n.s.
その他の営業外損益	1	0	n.s.	52	0	n.s.
税引前利益	159	124	+28.2%	580	458	+26.6%
営業収支率	46.1%	47.2%	-1.1 pt	47.3%	46.2%	+1.1 pt
割当株主資本 (10 億ユーロ)				2.3	2.0	+13.8%

証券管理

(単位：百万ユーロ)	4Q05	4Q04 IFRS 2004	4Q05/4Q04 IFRS 2004	2005	2004 IFRS 2004	2005/2004 IFRS 2004
営業収益	188	147	+27.9%	725	609	+19.0%
営業費用および減価償却費	-159	-122	+30.3%	-580	-483	+20.1%
営業総利益	29	25	+16.0%	145	126	+15.1%
引当金	0	0	n.s.	0	0	n.s.
営業利益	29	25	+16.0%	145	126	+15.1%
関連会社損益	0	0	n.s.	0	0	n.s.
その他の営業外項目	0	0	n.s.	0	0	n.s.
税引前利益	29	25	+16.0%	145	126	+15.1%
営業収支率	84.6%	83.0%	+1.6 pt	80.0%	79.3	+0.7 pt
割当株主資本 (10 億ユーロ)				0.5	0.3	+55.4%

コーポレート・バンキングおよび投資銀行事業

(単位：百万ユーロ)	4Q05	4Q04 IFRS 2004	4Q05/4Q04 IFRS 2004	2005	2004 IFRS 2004	2005/2004 IFRS 2004
営業収益	1,600	1,403	+14.0%	6,422	5,684	+13.0%
営業費用および減価償却費	-926	-867	+6.8%	-3,711	-3,361	+10.4%
営業総利益	674	536	+25.7%	2,711	2,323	+16.7%
引当金	-16	-22	-27.3%	130	-58	n.s.
営業利益	658	514	+28.0%	2,841	2,265	+25.4%
関連会社損益	1	-2	n.s.	3	-6	n.s.
その他の営業外項目	12	16	-25.0%	46	58	-20.7%
税引前利益	671	528	+27.1%	2,890	2,317	+24.7%
営業収支率	57.9%	61.8%	-3.9 pt	57.8%	59.1%	-1.3 pt
割当株主資本 (10 億ユーロ)				9.1	7.5	+21.6%
税引後 ROE				32%	31%	+1 pt

ファイナンス業務

(単位：百万ユーロ)	4Q05	4Q04 IFRS 2004	4Q05/4Q04 IFRS 2004	2005	2004 IFRS 2004	2005/2004 IFRS 2004
営業収益	678	595	+13.9%	2,700	2,292	+17.8%
営業費用および減価償却費	-308	-288	+6.9%	-1,134	-1,021	+11.1%
営業総利益	370	307	+20.5%	1,566	1,271	23.2%
引当金	-15	-19	-21.1%	131	-49	n.s.
営業利益	355	288	+23.3%	1,697	1,222	+38.9%
関連会社損益	0	0	n.s.	0	0	n.s.
その他の営業外項目	4	5	-20.0%	23	22	+4.5%
税引前利益	359	293	+22.5%	1,720	1,244	+38.3%
営業収支率	45.4%	48.4%	-3.0 pt	42.0%	44.5%	-2.5 pt
割当株主資本 (10 億ユーロ)				6.0	4.7	+28.4%

アドバイザーおよびキャピタル・マーケット

(単位：百万ユーロ)	4Q05	4Q04 IFRS 2004	4Q05/4Q04 IFRS 2004	2005	2004 IFRS 2004	2005/2004 IFRS 2004
営業収益	922	808	+14.1%	3,722	3,392	+9.7%
営業費用および減価償却費	-618	-579	+6.7%	-2,577	-2,340	+10.1%
営業総利益	304	229	+32.8%	1,145	1,052	+8.8%
引当金	-1	-3	n.s.	-1	-9	n.s.
営業利益	303	226	+34.1%	1,144	1,043	+9.7%
関連会社損益	1	-2	n.s.	3	-6	n.s.
その他の営業外項目	8	11	-27.3%	23	36	-36.1%
税引前利益	312	235	+32.8%	1,170	1,073	+9.0%
営業収支率	67.0%	71.7%	-4.7 pt	69.2%	69.0%	+0.2 pt
割当株主資本 (10 億ユーロ)				3.0	2.8	+9.9%

BNP パリバ・キャピタル

(単位：百万ユーロ)	4Q05	4Q04 IFRS 2004	2005	2004
営業収益	-39	23	384	417
営業費用および減価償却費	-7	-7	-23	-31
営業総利益	-46	16	361	386
引当金	-1	-2	-3	0
営業利益	-47	14	358	386
関連会社損益	76	40	127	190
その他の営業外項目	0	1	59	82
税引前利益	29	55	544	658
割当株主資本（10 億ユーロ）			1.1	1.1

その他の事業活動

(単位：百万ユーロ)	4Q05	4Q04 IFRS 2004	2005	2004
営業収益	29	73	246	275
営業費用および減価償却費	-100	-148	-314	-355
営業総利益	-71	-75	-68	-80
引当金	-25	58	25	46
営業利益	-96	-17	-43	-34
関連会社損益	-2	21	109	96
その他の営業外項目	49	-12	1	-92
税引前利益	-49	-8	67	-30

目次

2005 年度決算	1
BNP パリバ・グループ	1
連結損益計算書.....	9
2005 年度第 4 四半期のコア事業の業績	10
2005 年度のコア事業の業績	11
リテール・バンキング事業.....	12
国内リテール・バンキング	13
海外リテール・バンキングおよび金融サービス	15
資産運用および証券管理事業	19
資産管理.....	20
保険.....	21
証券管理.....	21
コーポレート・バンキングおよび投資銀行事業.....	23
ファイナンス業務	23
アドバイザーおよびキャピタル・マーケット	23
BNP パリバ・キャピタル.....	26
BNP パリバ・グループ	27
地域別取引の内訳	30
業種別取引の内訳	30
2004 年度第 4 四半期（IFRS 基準）と比較した 2005 年度第 4 四半期 （IFRS-EU 基準）ならびに 2004 年度の業績（IFRS2004 基準）と比較した 2005 年度の業績（IFRS-EU 基準）	31

本プレスリリースに含まれる一部情報およびその他情報もしくは資料は、今後の展開に関する現在の見解および見通しに基づく、あくまでも予測的な記述が含まれている可能性があります。そうした予測的な記述は将来的な業績動向を保証するものではなく、BNP パリバおよびその子会社・出資先企業にまつわる固有リスクや不透明性、前提要因に左右されるものです。BNL に対する過半数持ち分取得のオファーもその一つです（この案件は前述した各種条件に準じます*）。さらには、本資料に含まれるライト・イシュー（株主割当発行増資）の実現性や BNP パリバの事業展開、取引先企業の業績トレンド、将来的な設備投資および買収計画、グローバルもしくは BNP パリバの主要地場市場における景況変化、市場競争および当局規制といった要因もそれらに含まれます。これらの事項はいずれも不透明なものであり、現在の予想とは異なる結末と、ひいては現在の見通しとは大きく異なる業績動向をもたらす可能性があります。したがって実際の収益動向は、本資料にあくまでも見通しとして示された、あるいは示唆された内容とは実質的に異なる恐れがあることをご留意ください。本資料に含まれるいかなる先行きに関する数字・記述も、あくまでも資料発行時における予測の域を出ないものであることをご理解ください。BNP パリバは、そうした先行きに関する予測を含む一切の資料に関し、公に修正もしくはアップデートを行う責任を何ら負いません。

本資料に含まれる BNP パリバ以外の第三者に関わる情報は、個別に真実たることを確認したのではなく、かつ第三者にかかる代表もしくは保証を具体的に表現あるいは示唆したものではありません。また、本資料に含まれる第三者にかかる情報もしくは意見の正当性や正確性、完全性、正しさに関して信頼を置くべきものでもありません。BNP パリバもしくはその代表者ともに、本資料もしくはその内容の使用により生ずる、あるいは本資料に関連して、あるいは本資料で採り上げられた一切の情報・資料等に関して生じる、いかなる損失または落ち度に対しても責任を負いません。

* 2006 年 6 月 30 日を期日とする BNL 買収の成立はイタリア中銀、ISVAP（イタリア保険業監督当局）、該当する公正取引委員会、その他一切の権限ある規制当局（フランス中銀等）による承認を条件とする。